

各拠点の「健康と命のための手洗い運動」活動事例（2022年3月調査時点）

No.	部署 (チーム名まで)	関連プロジェクト名	取組内容	配布物の数 (ハンドサニタイザー個数、マスク 枚数、ポスター部数など)	啓発人数(人) (イベント参加者数、視聴者数、 いいね!の数など)	備考、今後の予定等 (あれば)	企業連携	企業名	リーチ数(人) (重複有)
1	広報室	-	手洗い運動の開始を受けて、メディア向けにプレスリリース（「JICA健康と命のための手洗い運動 スタート!～途上国の子どもたちに「漫画」を通じて「手洗い」を啓発～」）を発信。手洗い漫画と動画を作成、漫画については2021年4月7日現在28言語に翻訳（検討・作業中も含む）。	-	-	時事通信への取材対応済、記事の掲載済（2021年4月6日） ◆時事通信社専門情報誌（厚生福祉）に掲載 https://www.jiji.co.jp/service/senmon/index.html	-	-	-
2	広報部、手洗い運動事務局	-	広報部と手洗い運動事務局で動画を作成し、YouTubeで配信。 動画：世界に広がれ！JICA「健康と命のための手洗い運動」 日本語版 https://youtu.be/vQhdcmWwXEg 英語版 https://youtu.be/zWLGkyPSVo	-	-	-	-	-	24,307
3	広報部	-	SNSで手洗いを呼びかけ ◆日本語 Facebook https://www.facebook.com/jicapr/videos/418200562989453/ Twitter https://twitter.com/jica_direct/status/1448915897364611075 ◆英語 Facebook https://www.facebook.com/jicapreng/videos/1062542757622467/ Twitter https://twitter.com/jica_direct_en/status/1448916173425311744 また、国内機関・在外事務所に対し、10月1日～15日の期間に、それぞれの手洗いなどの衛生啓発に向けた取り組みについて、SNSアカウントで発信を呼びかけた。SNSの発信については、国内外でJICAとして統一した発信を行うことを目的として以下、共通#（ハッシュタグ）を設定。 「#世界手洗いの日」「#GlobalHandwashingDay」「#OurFutureAtHand」	-	-	-	-	-	140,000
4	健康管理室	JICA海外協力隊特別登録者の派遣前COVID-19講座	正しい手洗い方法の動画および手洗いの際の注意点を盛り込み講座を作成した。	-	-	青年海外協力隊課題業務・選考課を経由し対象者が視聴	-	-	-
5	健康管理室	新常态タスク	職域感染予防のため、国内拠点向けポスターを作成し、お知らせに掲載し、活用を促した。 本部（麹町、竹橋）には、ポスターを掲示した。	手洗いに関するポスター掲示：約150枚	-	感染状況等を踏まえポスターリニューアルを行っている	-	-	-
6	健康管理室	-	麹町ビルでは、共有スペース、会議室に、上記の感染予防対策のポスターと併せて手指消毒液を配布、設置した。	手指消毒液：計約120本	-	適宜補充している	-	-	-
7	健康管理室	新常态タスク	COVID-19感染対策にかかる説明会（国内向け）を開催し、感染予防行動の1つとして手洗いについても啓発した。勉強会の動画は後日お知らせで配信した。	-	勉強会参加者数：約90人	-	-	-	-
8	健康管理室	新常态タスク	職域感染予防の1つとして、定期的に（約3か月毎に）お知らせで手洗いに関する啓発を行っている。	-	-	-	-	-	-
9	東南アジア・大洋州部 東南アジア第五課	サッカーを通じた健康増進プログラム	（計画段階）サッカーイベントと保健医療分野の啓発を組み合わせるもの。JFA及びリーグのブランド力を集客や広報に活用することで、保健医療分野の既存案件の効果を最大化。イベントを通じて運動の習慣化を促すことで、生活習慣病予防、ひいてはコロナ予防にもつながる。	-	-	-	-	-	-
10	東南アジア・大洋州部 東南アジア第五課、 フィリピン事務所	-	概要（役員連絡簿より）：2月10日に読売巨人軍（以下、「巨人軍」と）との共催で、フィリピン・ミンダナオ島の青少年約300人を対象に、オンライン野球教室・手洗い啓発イベント「Mindanao Online Baseball Camp 2021」を開催した（協力機関：パンサモロ暫定自治政府基礎・高等・技術教育省、教育省ダバオ市局、ミンダナオ国際大学等）	-	-	-	○	読売巨人軍	300
11	南アジア部南アジア第一課	デジタル振興政策支援に係る情報収集・確認調査	ローカルコンサルタントの現地活動時、手洗いを含めたコロナ感染対策を行うことを励行。	なし	現地コンサルタント1名	-	-	-	-
12	人間開発部基礎教育グループ	みんなの学校：住民参加による教育開発プロジェクト	マダガスカル「みんなの学校：住民参加による教育開発プロジェクト」（2016年5月～2020年5月）では、アナラマンガ県の59校において学校給食モデルを試行し、コミュニティのリソース（コメ、野菜、薪、調理のための労働、等）を活用してコミュニティが給食を提供する「自主学校給食活動」を支援した。給食の提供前には、子供たちに手洗いを促すよう、啓発活動を行っている。	-	-	後続フェーズのマダガスカル「みんなの学校：住民参加による教育開発プロジェクト（フェーズ2）」でも、2021年1月～3月に146校にて学校給食の提供を支援し、給食提供前の手洗い啓発活動を行う予定。	-	-	21,900

各拠点の「健康と命のための手洗い運動」活動事例（2022年3月調査時点）

No.	部署 (チーム名まで)	関連プロジェクト名	取組内容	配布物の数 (ハンドサニタイザー個数、マスク 枚数、ポスター部数など)	啓発人数(人) (イベント参加者数、視聴者数、 いいね！の数など)	備考、今後の予定等 (あれば)	企業連携	企業名	リーチ数(人) (重複有)
13	人間開発部基礎教育グループ	障害児のための教育改善プロジェクトフェーズ2(START2)	障害児のための教育改善プロジェクトフェーズ2(START2)において、以下の手洗い運動関連の業務を実施することで、モンゴル教育省と調整。 (1) 教育へのアクセスを確保するための教室の衛生環境整備 ・ 障害の有無に関わらず、児童の通学への前提として、各教室での衛生環境を確保し、感染症予防に努める必要がある。そこで、教育省を通じ全国の公立905幼稚園、公立662学校及び付属の522寮の合計2,089施設に対し、室内消毒用の消毒液及び噴霧器を供与する。(室内消毒用消毒液計20,000個、室内消毒用噴霧器 5 L計2,089個) (2) 感染症予防のための啓発活動 ・ 教育省とともに、障害の有無に関わらず、すべての児童にとってわかりやすい感染症予防活動 ①手洗い、②マスク、③ソーシャルディスタンス、④免疫を高める方法等)について周知する5分程度の動画を制作する。(井上きみどりさんの手洗いポスター参照) ・ 加えて、教師や健常児等が障害児の感染症予防活動を支援するために必要な配慮について、分かりやすく情報をまとめたポスターを作成する。(井上きみどりさんの手洗いポスター参照)	公立905幼稚園、公立662学校及び付属の522寮の合計2,089施設に対し、室内消毒用の消毒液及び噴霧器を供与。(室内消毒用消毒液計20,000個、室内消毒用噴霧器 5 L計2,089個)	-	今年度中に物資について調達・配布予定であり、その際動画や啓発ポスターでの啓発活動を実施する。動画及びポスターは教育省が提供しているオンライン提案(全学年)の合間や、教育省及び関連機関、教育省と契約関係にある報道機関やSNSで発信する。さらに、教育省一各自治体教育局一学校へと共有してもらい、全国の児童へ発信する	-	-	-
14	人間開発部基礎教育グループ	初等教育カリキュラム改訂プロジェクト	教科書の中に手洗い啓発を組み入れた。その後、コロナウイルスの影響で学校は休校のため、それ以上の活動は実施されていない。別途、コロナウイルス予防について、手洗い促進の内容を含んだ広報動画を作成しており、テレビ放映される予定。現時点ではプロジェクトFBから閲覧可能。 https://www.youtube.com/watch?v=XOfiSdLo&feature=youtu.be	-	-	-	-	-	1,300,000
15	人間開発部基礎教育グループ	-	手洗い活動をプロジェクトの活動として取り入れている。現時点でRD締結前の段階のため、プロジェクト始動はもう少し先になる見込み。本プロジェクトは、教科とは別で衛生活動を学校で実践しているという取組みとなっている。	-	-	-	-	-	-
16	人間開発部基礎教育グループ	学びの質向上のための環境整備プロジェクト	教科とは別で衛生活動を学校で実践していく取組みとなっており、当初からプロジェクト活動として手洗いが含まれている。コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、衛生啓発促進ビデオを作成している。	-	-	-	-	-	-
17	人間開発部基礎教育グループ	就学前の教育と保育の質向上プロジェクト	1. 衛生用品の配布 300 保育園 2. 保育士研修(感染症対策を含む) 300 保育園の391保育士参加 3. 保育士研修ビデオ映像(感染症対策の研修含む) 4. FBでの広報活動(視聴者数651) 5. 研修での手洗い漫画(1,000部)、手洗い漫画リーフレット(4,000部)を保育園へ掲示、保護者へ配布	衛生用品キット(体温計、マスク、消毒液、)×300個 玄関マット、換気装置つき扇風機靴箱等×300個 感染症対策研修、300園391人参加	FBでの広報活動(視聴者数651) 研修での手洗い漫画(1,000部)、手洗い漫画リーフレット(4,000部)を保育園へ掲示、保護者へ配布	-	-	-	-
18	人間開発部基礎教育グループ	全人教育推進プロジェクト	幼稚園・小学校を対象とするため、手洗い習慣化を活動に入れ込むことを検討中。	-	-	-	-	-	-
19	人間開発部保健第一チーム	保健インフラマネジメントを通じた保健サービス強化プロジェクトフェーズ2	サラヤ社のハンドサニタイザーを計2回、ウガンダ保健省に供与した(第1回:計14,000L分、第2回:計81,000L分)。COVID-19が拡大している地域や、COVID-19患者を受け入れている病院に配布された。	サラヤ社のハンドサニタイザーを計2回、ウガンダ保健省に供与した(第1回:計14,000L分、第2回:計81,000L分)	-	-	○	サラヤ	42,720,000
20	人間開発部保健第一チーム	-	ウガンダ事務所にて、手洗いを含むCOVID-19予防啓発動画を2本作成し、全国で放送した。	予防啓発動画2本	-	-	-	-	42,720,000
21	人間開発部保健第二グループ保健第三チーム	分娩時及び新生児期を中心とした母子継続ケア改善プロジェクト	・ プロジェクトで開発した健康教育ブックレットの手洗いに関する内容のページを利用して、啓発を行った。 ・ (株)サラヤの協力を得て、産後健診受診者に、ペーパーソープの配布を行った。(100名分) ・ オフィス出入りに、消毒用アルコールを設置、職員全員に消毒用アルコールを配布し、手指衛生を励行	-	-	・ 新生児ケアの短期専門家の活動(2020/12/23-2021/3/22)では、手洗いを含む、感染管理についても指導を予定 ・ 開発中のSafe Delivery AppsのCOVID-19およびIPCモジュールのビデオの中に、手洗いとアルコール手指消毒の手順を教える内容が含まれている。	○	サラヤ	100
22	人間開発部保健第二グループ	プライマリヘルスケアにおける定期予防接種システム強化プロジェクト	パキスタン「プライマリヘルスケアにおける定期予防接種システム強化プロジェクト」の追加支援の中で、①住民向け新型コロナウイルス対策用ちらし、および②啓発活動時の説明に予防接種関係者や施設向けに配布するフリップチャートをそれぞれ作成し、手洗いの重要性について掲載。③州全体を対象として、3カ月間×2(少し間を空けて実施)回、SNSでの啓発活動(手洗いを含む)を実施。	①10000部印刷済み配布中 ②1200部印刷・配布済み。 (2022年3月末時点)	③週ごとの平均閲覧数:20万人 週ごとの平均いいね数:19万5000人 (2022年4月確認時)	-	-	-	30,523,371
23	人間開発部保健第二グループ第3チーム	大洋州広域フィラリア対策プロジェクト	①漫画7000枚配布 ②ラミネート加工済み漫画1200枚配布 ③保健スタッフから子どもたちへの啓発教育実施	-	-	本プロジェクトのHPのプロジェクトニュース(2021年9月21日)にも掲載中	-	-	-
24	人間開発部高等教育・社会保障グループ 社会保障チーム	障害分野アドボカシー及び調整促進アドバイザーフォローアップ協力	①FU協力として、ルワンダ国内の30校の学校に34機の障害児が利用可能なアクセシブルなトイレ(LIXIL社 SATO)を設置した。 ②トイレの設置と併せて、障害児のための手すりなどを配置して手洗いにアクセス	-	28800人(内訳総定数:30校×4クラス×40名×6学年)	学校での衛生環境が整備されたことによって、障害児の教育アクセスの拡大が期待される。	○	LIXIL	-

各拠点の「健康と命のための手洗い運動」活動事例（2022年3月調査時点）

No.	部署 (チーム名まで)	関連プロジェクト名	取組内容	配布物の数 (ハンドサニタイザー個数、マスク 枚数、ポスター部数など)	啓発人数(人) (イベント参加者数、視聴者数、 いいね！の数など)	備考、今後の予定等 (あれば)	企業連携	企業名	リーチ数(人) (重複有)
25	経済開発部 計画グループ 計画課/農業・農村 開発第2グループ第4 チーム	JICA食と農の協働プラット フォーム (JIPFA)	JICA食と農の協働プラットフォーム (JIPFA)が出版しているメールマガジンJIPFA通信13号 (10月18日) で世界手合いの日の手洗い漫画を紹介するとともに、手洗いと栄養の重要な関係の解説を掲載した。	430通配信。	JIPFA会員である430の個人・団体に配信。	同メールマガジン (JICA内部向け版) をお知らせに掲載。	-	-	430
26	社会基盤部運輸交通グループ	-	JICA事業関係者向けのリーフレットを各プロジェクトの専門家に共有し、プロジェクトでの活用を依頼。	-	-	-	-	-	-
27	地球環境部	-	手洗いリーフレット (内部用、外部用、海外協力隊用、ナショナルスタッフ用) の作成	-	-	-	-	-	-
28	地球環境部	-	井上きみどり氏のマンガを使った動画を「世界手洗いの日」に合わせて配信。 ・ Facebook英語 https://www.facebook.com/jicapreng/posts/1938190532989347 ・ Twitter英語 https://twitter.com/jica_direct_en/status/1316664691096121344	-	-	-	-	-	62,070
29	地球環境部水資源第二グループ	コチャパンバ県統合水資源管理 能力強化プロジェクト	ボリビアのコチャパンバ市において、マンガポスターや手洗い運動のロゴを用いたテレビCMをプロジェクトの啓発活動の一環として放映。広報室から在外事務所、国内機関、課題部等にも周知。 ・ ボリビア水環境省がfacebookで紹介 https://m.facebook.com/story.php?story_fbid=145284833978907&id=105785461262178 ・ 字幕付き動画のYoutubeリンク https://youtu.be/3E4-W9m_kxY ・ スーパー、薬局を通じて2000部のポスターを配布。好評のため、2000部増刷予定。(2020/10/23) ・ 10月4週目よりラジオ放送主要3局での配信開始。(2020/10/23) ・ 県庁の保健サービス局の職員が、公衆便所、マーケット等の衛生検査実施時に漫画ポスターを掲示。さらに、同局はコチャパンバ市の陸軍駐屯地及びSan Sebastián刑務所にもポスターを掲示。現地では広がりを見せている。その他、県庁が実施するセミナーなどでもポスターを配布。 (2020/11/09) ・ 11月23日にコロナ追加支援の機材供与引き渡し式が行われ、小原ボリビア事務所長が出席、ボリビアで現地報道された。(2020/12/1)	-	-	・ 広報室と連携して、ボリビアの取り組みを広報。	-	-	11,528,938
30	地球環境部水資源グループ	国際NGOとの連携による学 校・保健施設の衛生行動改善に 関する情報収集・確認調査	・ LIXILとの間で、同社の少ない水量で手洗いができる装置「SATO Tap」の活用と実証について協議中。 ・ 国際NGOと連携して3か国の学校と保健医療施設に、手洗い施設やトイレなどの施設建設による環境整備とナッジを用いた手洗いの行動変容促進などの衛生啓発で持続的な衛生行動の改善を行う。	・ Tシャツ：最大約53,000枚 ・ 衛生行動改善ハンドブック：最大約1,300冊 ※予定	約22,400人 (学校の児童・教師、 保健医療施設の医療従事者・ス タッフを対象) ※予定	-	○	LIXIL	-
31	地球環境部水資源第二グループ	都市水道公社事業管理能力強化 プロジェクト・フェーズ2	・ 2021年壁貼りカレンダー作成 ⇒SSUWCのロゴとシンボルメッセージ「水は命」(英語・アラビア語)、プロジェクト写真、JICAの手洗いロゴ入り。 ・ 手洗い啓発ビデオの作成 ⇒ビデオ内容はコロナ対策のメッセージ (「きれいな水で手洗い」がメッセージの中心) であり、「手洗いロゴ」も組み込まれる予定。 2021年2月末完成予定。 ・ Tシャツ作成 ⇒SSUWCのロゴとJICAの手洗いロゴを組み入れたデザイン ・ 清潔な水と手洗いパンフレット作成 ⇒COVID-19の状況に鑑み、啓発活動として清潔な水と手洗い、その他COVID-19の予防と知識のパンフレットの配布。 ・ 手洗いステーションの設置 ⇒学校(4ヶ所)、教会(2ヶ所)、刑務所(1ヶ所)、SSUWCジュバステーション(1ヶ所)、SSUWC本部(1ヶ所)、合計9ヶ所に手洗いステーションを設置した (2021年7月2日、現地にて納品検査実施)。 ⇒手洗いステーションに石鹸を配布 ⇒JICA作成の手洗い啓蒙漫画を基に作成した、手洗い啓蒙ポスター3種類をタックに掲示するよう依頼し、手洗いによる伝染病感染予防に関するPRを行った。 ・ 教会、学校向け手洗いPR資料の作成 ⇒JICA作成の手洗い啓蒙ポスターを元に作成した、紙芝居を学校3ヶ所に配布した(2021年7月5日)。 教室授業、日曜礼拝当の機会を用いた手洗い啓蒙活動に活用されている。 ・ 衛生用品 (フェイスマスク・石鹸) の配布 ⇒手洗いステーションが設置されている教会及びSSUWCジュバステーションにて市民に配布 ・ JICA事務所契約の漫画家に依頼し、教会・学校向けPR紙芝居の第二版を作成中 (2021年10月中に完成予定)	・ バンフレット1500部 ・ カレンダー300部 ・ Tシャツ200枚 ・ 手洗いステーション9箇所 (各手洗いステーションに、石鹸を100個ずつ配布、掲示ポスター3種類を9枚ずつ、合計27枚作成し配布した) ・ 紙芝居3セット - ・洗濯可能マスク：1,080枚 (1人2枚で540セット) - ・石鹸：1,080個 (一人2個で540セット) - ・手指消毒剤500mL：60本 (調達日：2021年6月29日)	7323人	-	-	-	

各拠点の「健康と命のための手洗い運動」活動事例（2022年3月調査時点）

No.	部署 (チーム名まで)	関連プロジェクト名	取組内容	配布物の数 (ハンドサニタイザー個数、マスク 枚数、ポスター部数など)	啓発人数(人) (イベント参加者数、視聴者数、 いいね！の数など)	備考、今後の予定等 (あれば)	企業連携	企業名	リーチ数(人) (重複有)
32	地球環境部	-	手洗い後の洗い残しを可視化する「手洗いチェッカー」等の備品を購入。複数の部署から貸出の要望があり、貸出（JICA北陸、JICA中部、調達・派遣業務部等）。	-	-	-	-	-	-
33	地球環境部水資源第一グループ	ジェニン市水道事業実施能力強化プロジェクト	・執務室に井上きみどりさん漫画、ロゴのポスターを掲示 ・漫画ポスターの配布 ・ジェニン市上下水道局の職員の家族がポスターを持ち帰っており、今後学校での配布も検討。	-	-	-	-	-	-
34	地球環境部水資源第二グループ	無取水削減能力向上プロジェクト	・手洗いロゴ入り啓発ポスターの作成 ・Facebookページでの紹介（各WSP、ケニア事務所）	-	-	-	-	-	-
35	地球環境部 環境管理G	南北ダッカ市及びチッタゴン市廃棄物管理能力強化プロジェクト	感染予防のため、市民向けにごみの分別を呼びかけるチラシを作成して配布。手洗いについても同時に呼び掛けている。プロジェクトサイトのダッカ市、チッタゴン市には配布済み。加えて、ロングプール市、ガジプール市、ナラヤンガンジ市、クミラ市でも配布予定。	・リーフレット：約70,000枚	・デジタル新聞：約100,000アクセス ・デジタル広告：約14,700放送	【JICA】 https://www.facebook.com/jicaBangladesh/posts/3043438295744976 【北ダッカ市】 http://dncc.gov.bd https://www.facebook.com/dncc.gov.bd/photos/a.956056261082258/3154499207904608/ 【南ダッカ市】 https://www.facebook.com/officialpage.dscg/photos/a.776095315844871/3057584921029221/ 【チッタゴン市】 https://www.facebook.com/101642398050473/posts/182424529972259 https://www.facebook.com/101642398050473/posts/186902082857837 https://www.facebook.com/101642398050473/posts/187283446153034 https://m.facebook.com/story.php?story_fbid=3396593013693322&id=218875761465079	-	-	17,065,540
36	地球環境部水資源第二グループ	リロングウェ市内無取水対策能力強化プロジェクト	(Facebookより)マラウイでは2020年4月に新型コロナウイルスの国内新規感染者が確認されました。しばらく感染状況は落ち着いていましたが、クリスマスシーズンによる人の移動の影響を受け、2021年1月を境に感染拡大が加速し、保健医療や水供給を含む公共サービスや経済への深刻な影響が懸念されています。 JICAは、実施中の技術協力プロジェクトを通じて、リロングウェ市水道公社に対して塩素剤、手指消毒剤、液体洗剤石鹸、非接触型体温計、オフィスパーティションの供与を行いました。この支援によって、リロングウェ市内全域に対して6か月分の安全な水の提供が可能になり、水道公社CEOから、支援に対する感謝の意が述べられました。 Facebook https://www.facebook.com/jicapr/posts/3646327892069998 Twitter https://twitter.com/jica_direct/status/1361503817418772484	-	-	-	-	-	1,070,612
37	地球環境部水資源第一グループ	ビアンジ県・ハマドニ県上下水道公社給水事業運営能力強化プロジェクト	(ニュースレターより)ビアンジ県上下水道公社は、これまでも、顧客との関係強化の一環として、本プロジェクトの本邦研修で学んだ「巡回教室」を取り入れ、小学生を対象に水道の水が各家庭まで届く仕組みについての授業や給水施設の見学会などを開催しています。同公社は、このような活動を通じて県下の小学校とはすでに関係を構築していますが、手洗い運動の実施に当っては、ビアンジ県の県庁、町村議会、教育委員会などの行政機関、県病院及び同病院に併設された看護学校などの医療機関などを幅広く巻き込み、各組織が一致協力して実施することになりました。 手洗い運動は、4つの小学校を対象に2021年3月16日から19日までの4日間で実施され、延べ1,700人の児童と先生及び関係者を合わせて約2,000人が同運動に参加しました。子供たちへは、正しい手洗いの方法を分かりやすいイラストにしたタジク語のパンフレットを使用して説明し、石鹸も1つずつ配布しました。また、実際の手洗いの指導は、看護学校の生徒さんに担当してもらいました。	-	2,000人	手洗い運動の開催後、ビアンジ県知事及び同県教育委員会からはJICAに対して心からの謝意が表明されました。また、同委員会からは手洗い運動の継続とさらに高学年、高校生を対象に同運動を行って欲しいとの要望がありました。今回の手洗い運動の様子は、国営TV局の取材を受け、ゴールデンタイムに全国ネットのニュース番組の中で数日に亘って放映されました。今後、このビアンジ県上下水道公社が始めた手洗い運動が、ビアンジ県だけでなく、全国の他の上下水道公社を通じて、全国に広がって行くことが期待されます。	-	-	9,302,184
38	地球環境部水資源第一グループ	ネパール国地方都市における水道事業強化プロジェクト・フェーズ2	手洗い器を調達・納入。 塩素剤・塩素剤注入器（2台）・水質検査キット（9セット）・簡易トイレ（6セット）・手洗い器（15セット）を支援し、案件対象の水利用衛生委員会へ搬入し、オフィスや地域のパブリックスペースへ設置。 ネパール語の手洗い漫画も作成し、手洗い器に貼っているものもある。	塩素剤・塩素剤注入器（2台）・水質検査キット（9セット）・簡易トイレ（6セット）・手洗い器（15セット）	-	-	-	-	-

各拠点の「健康と命のための手洗い運動」活動事例（2022年3月調査時点）

No.	部署 (チーム名まで)	関連プロジェクト名	取組内容	配布物の数 (ハンドサニタイザー個数、マスク 枚数、ポスター部数など)	啓発人数(人) (イベント参加者数、視聴者数、 いいね！の数など)	備考、今後の予定等 (あれば)	企業連携	企業名	リーチ数(人) (重複有)
39	地球環境部水資源第2グループ（手洗い運動事務局）	健康と命のための手洗い運動	2021年2月19日、健康と命のための手洗い運動プラットフォームの第1回目となる、「手洗い運動進捗状況と会員団体様ご紹介セミナー」をオンラインで開催。参加人数は、プラットフォームの個人・団体会員、関係機関、大学、コンサルタント企業、JICA等から約100名に及んだ。 大阪大学大学院人間科学研究科 杉田映理准教授から基調講演をいただき、プラットフォームの団体委員の皆様からも手洗いに関する活動状況をご発表いただいた。また、JICAからも本運動の活動状況について説明した。質疑応答の時間では、本運動の今後の展開に関する意見、要望が活発に出された。	-	約100名	セミナー報告 https://www.jica.go.jp/information/seminar/2020/20210219_01.html	-	-	100
40	地球環境部水資源第2グループ（手洗い運動事務局）	健康と命のための手洗い運動	2021年3月30日にウォーターエイドジャパン主催のウェビナー「健康と命のための手洗い」に手洗い運動事務局から松永職員が登壇し、JICAの手洗いに関する取組を説明した。 【開催趣旨】栄養や水・衛生分野のスペシャリストが、手洗いに関心が集まっている今、より大きいスケールで人々の衛生行動を変え、栄養を改善し、将来の健康危機に備える方法について話し合います。栄養と水・衛生分野の連携において、それぞれが直面している課題と機会について話し合い、今後のさらなる連携について考えます。	-	82名（参加登録者）	WaterAid Japan関連サイト https://www.wateraid.org/jp/get-involved/event/hygiene-and-nutrition-210330	-	-	82
41	地球環境部水資源グループ	水公社運営・維持管理能力強化プロジェクト	① JICAスーダン事務所印刷の手洗いポスターをハルツーム州、カッサラ州、リバーナイル州、白ナイル州水公社と近隣の小学校などに配布した（300枚） ② 手洗い促進のため「石鹸ネット」の紹介動画をカウンターパート機関と作成した	① ポスター300枚	① 約60小学校に配布	① 各州のFacebookにて小学校へのポスター配布状況などを投稿	-	-	-
42	地球環境部水資源G手洗い運動事務局	-	JICAマガジン2月号「特集：感染症対策」にて、松永職員のインタビュー記事「手洗いの大切さを伝える創意工夫」を掲載。健康と命のための手洗い運動の活動についても説明している。 https://jicamagazine.jica.go.jp/article/?id=202202_7f&titl=%E6%89%8B%E6%B4%97%E3%81%84%E3%81%AE%E5%A4%A7%E5%88%87%E3%81%95%E3%82%92%E4%BC%9D%E3%81%88%E3%82%8B%E5%89%B5%E6%84%8F%E5%B7%A5%E5%A4%AB&src=2022%2F01%2Fp20_handwashing_0	-	-	-	-	-	-
43	資金協力業務部	-	SNS「jhappy」で手洗い運動について拡散。 https://m.facebook.com/story.php?story_fbid=1596028247244004&id=625539380959567&notif_t=page_post_reaction&notif_id=1602746912046149&ref=page_internal	-	-	-	-	-	2,784
44	資金協力業務部	ルワマガン郡灌漑施設改修計画	(ニュースレターより)新型コロナ感染拡大に伴い、施工業者による感染予防対策の一環として行われた。簡易の手洗い所を現場に設け、1日5回（作業開始前、午前休憩時、昼食時、午後休憩時、作業終了時）の手洗いが励行された。手洗いの他にも、密を避けての作業、マスク着用、体温測定など、工事に従事する作業員全員の実施状況を毎日記録し、健康管理が行われた。（昨年完成）	-	-	-	-	-	-
45	青年海外協力隊事務局	-	カンボジア隊員が公衆衛生改善支援の一環として「手洗い習慣化」を目的とした動画を作成。 事務所FB、カウンターパートFB、同国隊員（OV含む）FBで拡散してもらう計画。 現地人Youtuberを巻き込み情報到達率を向上させた。 ■Youtubeチャンネル"JOVC Cambodia Classroom" https://www.youtube.com/channel/UCLDgnUDimJ1JqxtL4VgIA ■Youtubeチャンネル"JOVC Cambodia physical education" https://www.youtube.com/channel/UCKXcgMy3BfGzebLXhTQ4cSg	なし	"JOVC Cambodia Classroom"に "Handhygiene for Khmer"をテーマに趣旨衛生啓発動画を3本掲載、またその3本を事務所公式Facebookにも転載。Facebook上での再生数は2021年10月8日付で約19,800回。	なし	-	-	1,259
46	青年海外協力隊事務局	-	エジプト教材研究分科会隊員5名がコロナ感染対策や手洗いのイラスト・動画の作成 子供や母親にも理解しやすいイラストや動画で効果的に情報を伝達。 ■Youtube https://www.youtube.com/watch?v=5jCnokTnZo&feature=youtu.be&fbclid=IwAR00MAiIFAYbGc4owqLRJBv2R32j1X1R0dPbHlpc2TdPOSP0zV-qDS8Gn0 ■Facebook https://www.facebook.com/104615964600655/photos/pcb.119159283146323/119159179813000/?type=3&theater	-	-	-	-	-	810
47	青年海外協力隊事務局	-	カメルーン隊員有志がコロナ対策手洗い動画の作成 ■Facebookページ https://www.facebook.com/431008457454915/posts/708915759664182/?extid=hiWxr9y9IALXnksX&d=n	-	-	-	-	-	1,457
48	青年海外協力隊事務局	-	エクアドル隊員が手洗い啓発動画の制作 ■Facebook動画 https://www.facebook.com/JICABolivia/videos/973870819702893/	-	-	-	-	-	17,310
49	青年海外協力隊事務局	-	エチオピア幼児教育隊員4名が考案した、コロナ啓発ポスター（マスクの正しい付け方、手洗い方法）をナショナルスタッフ動員の上、対象機関に配布。 保健案件の立ち上げに伴い、所長が当国保健大臣と会議を実施した際に、隊員が制作したポスターを紹介した。子どもを対象としたコロナ予防啓発の重要性を認識し、政府機関としても（ポスターを用いて）拡散をしていくといった意思が確認された。	-	-	-	-	-	20,403
50	青年海外協力隊事務局	-	ガーナ隊員が配属先に「手洗いの手順」や「感染症とは何か？」を記した視覚資料を印刷して送付済。	-	-	-	-	-	-

各拠点の「健康と命のための手洗い運動」活動事例（2022年3月調査時点）

No.	部署 (チーム名まで)	関連プロジェクト名	取組内容	配布物の数 (ハンドサニタイザー個数、マスク 枚数、ポスター部数など)	啓発人数(人) (イベント参加者数、視聴者数、 いいね!の数など)	備考、今後の予定等 (あれば)	企業連携	企業名	リーチ数(人) (重複有)
51	青年海外協力隊事務局	-	隊員向けリーフレットおよび手洗い事務局HPリンクについて、12月2日に待機隊員（約550名程度）に対し、在外事務所経由で共有している。 また、2020年11月下旬より、再派遣が決まった隊員に対しても、隊員向けリーフレットおよび手洗い事務局HPリンク等を共有している（※「新型コロナウイルス感染症予防・啓発研修」受講者2022年3月時点 計51ヶ国288名）。	-	-	-	-	-	838
52	JICA北海道（札幌）	-	旭川市立近文小学校のほげんだよりに「世界手洗いの日」の紹介とともに、「正しい手洗い漫画」が掲載されていた旨、HP上で広報を行った。 https://www.jica.go.jp/sannora/topics/2021/20211108.html	-	92人（HPアクセス者数）	-	-	-	-
53	東北センター	-	広報・啓発資料を作成し、センター内に掲示 ・井上きみどりさんの手洗い啓発漫画を日本語と英語に訳して、入り口受け付けにパンフを配架。 ・JICAプラザに水&手洗い啓発コーナーを設置。 ・会議室の壁に、手洗い運動ロゴのあったバナーを作成し、オンライン会議時の啓発に利用。	-	-	-	-	-	-
54	東北センター	-	井上きみどりさんの手洗い啓発漫画を印刷したチラシ、クリアフォルダの作成・配布	ちらし日・英語各100部、クリアフォルダ350枚×2種類=700枚作成 2020年度はちらし日・英50枚、クリアフォルダ200枚配布	-	-	-	-	300
55	筑波センター	(とくになし)	1. きみどりさんの手洗いマンガをカラー印刷し、ラミネートしたうえで健康観察待機する留学生・研修員の居室全てのバスルームに貼り付け。 2. 手洗い動画をJICA筑波のSNS(FB, ツイッター) でリツイート、イネ!し拡散	38 (研修員居室数)	1. 約50名 (健康観察待機した留学生・研修員数) 2.	-	-	-	7,578
56	筑波センター	(とくになし)	来日中の長期研修員及び課題別研修員に対し、感染者数を知らせるとともに、自身で取り組める感染予防対策を、毎週メールで配信している。密を避けるなどに加えて、手洗いを行うことも紹介している。	-	-	呼びかけメール別添	-	-	-
57	東京センター	-	8名から成る「JICA東京手洗いチーム」を立ち上げ、手洗い啓発動画を作成。 JICA東京手洗いチームメンバー：二見課長、堀本職員、徳田職員、岩永職員、高橋職員、高野職員、中村職員、深林職員 ・動画 (日本語ver.) https://youtu.be/ClgkvaHTzT4 (英語ver.) https://youtu.be/CNfo0thVFUY	-	-	-	-	-	1,635
58	東京センター	-	「世界手洗いの日」に合わせたWEBトビックス、facebook、youtubeの発信を実施。ロゴも使用。 ・JICA東京WEBトビックス https://www.jica.go.jp/tokyo/topics/2020/ku57pq00000m4lsp.html ・JICA東京facebook https://www.facebook.com/jicatokyo/posts/3642797705740026 ・JICA東京youtube https://youtu.be/ClgkvaHTzT4	-	-	-	-	-	31,295
59	東京センター産業開発・公共政策課	-	留学生向けの手洗いロゴ入りマスクを作成し、配布 →マスクは、JICA東京で2週間健康観察中の留学生が退館する際に、留学先の地域の人たちに留学生がしっかり手洗いをしていますというアピールのために配布される。	-	-	-	-	-	-
60	東京センター 市民参加協力第一課	一時帰国中の海外協力隊員が活躍：カンボジ隊員が手洗い啓発ダンス動画を作成	近藤幸恵隊員（新潟県出身、カンボジア派遣・看護師職種）が一時帰国後に手洗い啓発ダンス動画を作成（同じカンボジア派遣隊員2名と協同）。 「今、日本からできることを！一時帰国中の海外協力隊員が活躍 その1」赴任国に向け、リモートで支援」 https://www.jica.go.jp/topics/2020/20200812_01.html 以下、トビックスより抜粋 「この動画は新型コロナウイルス感染症COVID-19対策も含めた公衆衛生改善支援WASH(=Water, Sanitation, and Hygiene)の一環です。カンボジアの人々に馴染みのあるダンスをアレンジすることで、気軽に手洗いの必要性やタイミング、具体的な手洗い法などを知ってもらい、楽しみながら習慣にしていこうことを目指しています」 まず、看護師隊員が手洗いダンスの見本動画を作成。その後、カンボジアに派遣されていた一時帰国中の隊員やJICAカンボジア事務所職員、現地カンボジアの方々など、たくさんの方々に出演協力を依頼しました。日本に戻っても、カンボジアとのつながりを大切にして、動画の制作を進めています。 動画が完成したら、FacebookやTwitterなどに投稿し、JICAカンボジア事務所や隊員、配属先の人々に積極的にシェアしていく予定です。	-	-	-	-	-	367
61	東京センター 市民参加協力第二課	ビチンチャ県カヤンベ市の学校菜園と学校給食の実施を通じた子ども達の学校生活改善プロジェクト	平時より不足していたコロナ禍により顕著となった衛生習慣の不足への対応として、対象校6校のうち早期の学校再開見込みであった3校への手洗い場の設置および3校の全生徒を対象とした衛生講習実施を計画した。手洗い場設置は完了の見込みであるが、衛生講習は会場である学校の再開が進まないため、保護者へのリーフレット配布など代替策にて対応予定。	・手洗い場9台、・ポスター9枚 ・マスク300枚、 ・消毒用アンモニア、手指ジェル、 リキッドソープ各24個	3校で生徒443名（216世帯）	-	-	-	443

各拠点の「健康と命のための手洗い運動」活動事例（2022年3月調査時点）

No.	部署 (チーム名まで)	関連プロジェクト名	取組内容	配布物の数 (ハンドサニタイザー個数、マスク 枚数、ポスター部数など)	啓発人数(人) (イベント参加者数、視聴者数、 いいね!の数など)	備考、今後の予定等 (あれば)	企業連携	企業名	リーチ数(人) (重複有)
62	東京センター 市民参加協力第二課	カンボジア国における子どもの 栄養改善1000日プロジェクト	実施団体：特定非営利活動法人 シェア＝国際保健協力市民の会 草の根事業関連でのコロナ対策の活動内で、 1. 乳幼児健診の前にコロナの注意喚起や手洗い指導を実施したことがある。 ただし、 ※1 手洗い指導に関しては、通常の乳幼児健診実施の際に必ず保健教育を実施することになっており、保健センターのスタッフもしくは保健ボランティアがIYCF(Infant and Young Child Feeding)のフリップチャートを使って行っている。フリップチャートの中に手洗い指導の項目もあるのでそれを活用しているとのこと。 ※2 対象の39村において、その日に何の保健教育を実施したのかの記録はおそらくとっていないので、厳密なところは出すのが難しい。 2. プレアピビア州保健局と相談し、保健省のコロナ啓発のパンフレットの配布の支援を行った。 (2020年1月) ※1 パンフレットの印刷費用は、シェアの方でも一部支援を行った。(印刷費用は草の根事業費外) ※2 パンフレットを活用しての注意喚起を乳幼児健診の保健教育として数回は実施しているが、回数までは確認不可。	-	-	-	-	-	-
63	東京センター 市民参加協力第二課	スマイルトイレプロジェクト -持続可能な衛生環境改善による 笑顔あふれるまちづくり-	実施団体：認定NPO法人日本ハビタット協会 実施概要 ・「世界手洗いの日」での啓発活動キャンペーン実施。 多くの住民がイベントに参加してくれるよう、広報車両が音楽をかけながら村を回り参加を呼びかけたり、ラジオを使った広報宣伝を実施し、住民の手洗いへの意識を高めた。イベントでは、手洗いの重要性を伝えるだけでなく、誰でもすぐに設置できるTippy Tapの設置方法の指導も行った。 ・手洗いを呼びかけるカレンダーの作成、配布。 人々に親しみやすくいつも目に付く啓発ツールとして作成、配布。手洗い意識の向上を目指した。 ・JICA東京作成の手洗い啓発動画、「世界手洗いの日」に合わせたWEBトビックス、facebook、youtubeの発信に協働。 →JICA東京WEBトビックス https://www.jica.go.jp/tokyo/topics/2020/ku57pq00000m4isp.html →JICA東京facebook https://www.facebook.com/jicatokyo/posts/3642797705740026 →JICA東京youtube https://youtu.be/ClgkvaHTzT4	啓発用カレンダー作成、配布：1400枚を作成し、各活動実施時に配布した。	・2019年は住民152名と小学校の生徒90名が参加、2020年は新型コロナウイルス感染症予防を講じながら開催し住民82名が参加、2021年は114名の住民の他、ホームベイク保健省職員22名が参加した。 ・1年目対象となった19村においては、手洗い場の普及率が21%から86%に向上し、1,331世帯のうち計1,149世帯が通常の手洗い施設へのアクセスが可能になった。2年目対象村では、手洗い場があるのはわずか1%だったが、60%まで上昇した。	・ラジオを使った広報宣伝 地域住民から事業やトイレ建設についての問い合わせやSNSのアクセス数も増えているとのこと。 ・啓発用カレンダー カレンダーだといつも目に付くので効果的な広報が行えるとの現地からの提案を受けて作成したとのこと。	-	-	1,324
64	東京センター 市民参加協力第二課	サイクロンに強い地域・人づくりプロジェクト -サイクロン常襲地で、地域全体で防災、減災力を高めます-	・地域内のサイクロンシェルター60箇所に手洗い場を設置(2020年12月設置完了)、Covid-19に関する地域住民の意識を高めるため、手洗い、社会的距離の維持、外出時のマスクの着用等を促すメッセージを掲載した合計10,000部のポスターと26,500部のリーフレットを印刷(2021年3月に配布)、 ・地域内のサイクロンシェルター等96(モレルゴンジ48およびショロンコラ48)箇所で、Covid-19に関する地域住民の意識を高めるための壁画を制作(2021年3月に完了)、サイクロンシェルター72箇所へ1シェルターあたり石鹸(10個)・マスク(400枚)・手袋(40双)の配置(2020年12月までに完了)。	・手洗い場設置60箇所 ・ポスター10,000部、リーフレット26,500部 ・啓発壁画96箇所 ・石鹸720個・マスク28,800枚・手袋2880双	<参考> 対象地域の住民数約6万人	-	-	-	60,000
65	東京センター 市民参加協力第二課	地域住民参画による持続可能な 学校給食モデルの確立	・学校内への消毒ジェルの設置、給食前の手洗い・手指消毒の指導、手づかみに代えてのスプーン利用の食事指導(2021年2月)。	・消毒用アルコール2本(非接触型スタンド付) ・スプーン170本	対象小学校児童約160人	-	-	-	160
66	東京センター 市民参加協力第二課	エイズ孤児を抱える貧困家庭の 生計向上とキャリアプランニング 支援事業	・手洗い指導、体温計の使い方指導 ・手洗い用の水タンク、石鹸、マスク、体温計を配布 ・感染予防啓発ポスター ・マスクの着用指導及び正しい着用方法の指導	・手洗い用の水タンク 116個 ・石鹸 4,600個 ・布マスク 1,618枚 ・体温計 116個 ・啓発ポスター 68枚 (ヘルスセンター18か所×2枚、公立小学校15校×2枚、病院1か所×2枚)	小学校15校 ヘルスセンター18施設 病院1施設 対象地域の住民約300名	11月のモニタリング時には、受益者より「石けんで1日5~10回手を洗っている。家に入るとき、トイレに行った後、ごはんの前など何度も洗っている。抗菌石けんなのでより手を清潔に保つことができうれしい」といった声をもらった。	-	-	6,518
67	横浜センター	長期研修員受入	健康観察のために入館している長期研修員(2020/10以降)に対して、コロナ対策の一環として井上きみどりさんの手洗い漫画を全研修員に必ず1枚配布し、併せてフリーフィングにおいても紹介して手洗いの重要性を説明。(2020/12/10現在、長期研修員144名中、日本語50枚、英語94枚配布済) 今後も研修員受入の際の基準資料として全研修員に必ず1枚配布予定(英語基準、各言語で対応が可能場合は併せて配布予定。)	-	-	-	-	-	288

各拠点の「健康と命のための手洗い運動」活動事例（2022年3月調査時点）

No.	部署 (チーム名まで)	関連プロジェクト名	取組内容	配布物の数 (ハンドサニタイザー個数、マスク 枚数、ポスター部数など)	啓発人数(人) (イベント参加者数、視聴者数、 いいね!の数など)	備考、今後の予定等 (あれば)	企業連携	企業名	リーチ数(人) (重複有)
68	横浜センター	感染症企画展示	「感染症と国際協力」と題した感染症をテーマとした企画展示を11月より開催中。「JICAの挑戦」(JICAのコロナ対応)のコーナーで「手洗い運動」及び漫画(日英)をパネル展示済。	-	-	-	-	-	-
69	北陸センター	-	地球環境部より「手洗いチェッカー」を貸与。当初の目的は北陸センター内での健康管理を目的とした、手洗いの啓発活動だったが、スタッフが使用した感想から「外部の来訪者にも利用してもらおう」ということになり、北陸センター入口に設置し、北陸センターFacebook記事でお知らせ。 https://www.facebook.com/140950966057393/posts/1721069724712168/?d=n	-	-	-	-	-	2,422
70	中部センター	-	地球環境部より「手洗いチェッカー」を貸与。 当初は、なごや地球ひろば館内に設置し、来館者の方に体験していただこうと思っていたが、手洗い場近辺でないと体験ができないこと、スタッフの説明がないと体験方法がわからないこともあり、現在は、お声掛け頂いた方に対して、スタッフが個別に対応している。 1/17・5/1には、協力隊OGを招き「感染症予防」をテーマとした親子向けイベント(参加者10名・12名)、そのプログラム内にて参加者に体験していただいた。また、なごや地球ひろばへの来館者にも適宜説明を行い、来館者が増した夏休み期間を中心に約230名の方にお伝えすることが出来た。コロナ禍により、積極的な声掛けはしていないが、週末を中心に体験希望のお声掛けをいただくこともあり、引き続きご希望に応じて適宜ご案内を続けている。	-	-	-	-	-	10
71	関西センター	-	井上きみどりさんの手洗い啓発漫画を印刷したポスターを、JICA関西が展示ブースを出展する「大阪科学技術館」内に掲示。	-	-	-	-	-	-
72	関西センター	-	・健康観察のために入館している長期研修員(2020/10~11月)に対して、コロナ対策の一環として現地語版の手洗い啓発資料を印刷し、研修員の居室に配布。(インドネシア長期研修員76名に配布済) ・センター内出入り口、ドア開閉近く各所、1階トイレ前に消毒液を設置し、職員・来訪者とともに手の消毒を実施	-	-	-	-	-	-
73	中国センター	-	センター内出入り口、ドア開閉近く各所に消毒液等を設置、来訪者とともにスタッフが意識して手の消毒を実施しています。 また、センター内滞在の長期研修員等(広島県受入留学生含む)に、コロナ対策の重要な手段として手洗い(消毒)を啓発すべく、和英文の通知文をトイレに掲示しています。	-	-	-	-	-	-
74	四国センター	-	各所に消毒液等を設置、スタッフが意識して手の消毒を実施	-	20	-	-	-	-
75	四国センター	-	長期研修員に、コロナ対策の重要な手段として手洗い(消毒)を啓発	-	40	-	-	-	-
76	四国センター	-	徳島大学社会連携講座(主催:四国センターと徳島大学「コロナ/コロナ後時代の徳島と世界~徳島の持続可能な未来に向けて」全6回)の第2回で、JICAのコロナ感染拡大防止のための取り組みとしてJICA東京の手洗い動画を紹介した。	-	30	-	-	-	-
77	四国センター	-	8/23第2回多文化共生講座「アフリカ編」@高知県(協力隊OBと高知県在住外国人で国や地域の紹介を行う)で、ウガンダ隊員OVのV川島綾香氏が、現地での水の防衛としての取り組みとして、写真で現地の手洗い事情や、手洗い啓発活動を紹介した。	-	30	-	-	-	-
78	四国センター	-	10/18国際ふれあい広場@高知(高知県国際交流協会主催の国際交流イベント。四国センター共催)の会場スクリーンにて、JICAの団体紹介の一部として、 https://www.jica.go.jp/activities/issues/water/sanitation/index.html の手洗い動画を写し、JICAのコロナ感染拡大防止への取り組みを紹介した。	-	200	-	-	-	-
79	四国センター	-	愛媛県の長期研修員および待機中隊員へ手洗い・消毒励行を含む感染予防の呼びかけた。	-	10	-	-	-	-
80	四国センター	-	11月28日教員向けセミナー「SDGsを学校で」にて、愛媛県の高教員越智氏より、JICAの水教材(ウガンダ)を使用した実践授業の紹介があり、安全な水へのアクセスや、手洗いなどの衛生活動につなげた授業の組み立てが紹介された。	-	20	-	-	-	-
81	四国センター	-	愛媛県出身/派遣中の大森JV(ベトナム/看護師)が県内小学校を対象に講師を務めたオンライン交流授業において、本人が参加している手洗い啓発動画を紹介 ※同小学校には隊員OVが勤務、同OVからの依頼により大森JVを紹介・実施に至った	0	50	-	-	-	150
82	四国センター	-	今後のイベント、および次年度研修における研修員向けにコロナ対策啓蒙用のマスク(SDGsマーク入り)を調達。実際の配布は今後を予定。	200枚	50	-	-	-	200
83	四国センター	-	徳島県教育委員会主催「グローバルキャンプ徳島」でのキャリア形成座談会にて、動画を放映しコロナ禍でのJICA活動紹介につなげた(参加高校生約50名)	0	50人	-	-	-	50
84	沖縄センター	-	JICA沖縄の食堂の入口横の掲示板に、井上きみどり氏の「正しい手洗い漫画」(日本語、英語、西語)と、プラットフォームウェブサイト印刷物を掲示。	1	2,328	啓発人数=掲載開始の2020年10月16日から11月18日までのJICA沖縄食堂利用者数	-	-	2,328
85	沖縄センター	-	手洗いポスター(日英)をセンター内トイレに掲示	ポスター6枚	-	呼びかけた人数=掲載開始の2020年2月から2022年3月までのJICA沖縄施設利用者数	-	-	24,898

各拠点の「健康と命のための手洗い運動」活動事例（2022年3月調査時点）

No.	部署 (チーム名まで)	関連プロジェクト名	取組内容	配布物の数 (ハンドサニタイザー個数、マスク 枚数、ポスター部数など)	啓発人数(人) (イベント参加者数、視聴者数、 いいね！の数など)	備考、今後の予定等 (あれば)	企業連携	企業名	リーチ数(人) (重複有)
95	カンボジア事務所	なし	・ 退避中隊員3名（2019-2看護師2名、体育1名）を中心に「JOCV×WASH」チームを作り、UNのHand Hygiene for Allに倣いHand Hygiene for Khmerをコンセプトに手指衛生啓発動画を作成、隊員Youtubeチャンネルや事務所公式Facebookを通じて配信。 ① レッスン編：https://www.facebook.com/JICACambodia/videos/339271217109467/ ② ダンス編：https://www.facebook.com/JICACambodia/videos/4333200270055254/ ③ CM編：https://fb.watch/2hifbTzeng/ ④ 手洗い漫画編：https://www.facebook.com/456373264408765/posts/3410167279029334/?d=n ○ 隊員Youtubeチャンネル：https://youtube.com/channel/UCLDgnUDimlJ1qcxtL4VgIA ・ 隊員の取り組みは下記広報媒体でもピックアップされている。 ①GetNavi：http://getnavi.jp/world/525113/ ②TABIPPO：https://www.facebook.com/456373264408765/posts/3410167279029334/?d=n ③クロスロード11月号： https://www.jica.go.jp/volunteer/outline/publication/pamphlet/crossroad/202011/index.html ・ 関係者数19名（カンボジア隊員全員）、直接裨益者数約95名（カウンターパート等）、動画（レッスン編、ダンス編、CM編の3本）再生総数約18000回（12月10日時点）。	-	関係者数19名（カンボジア隊員全員）、直接裨益者数約95名（カウンターパート等）、動画（レッスン編、ダンス編、CM編の3本）再生総数約18000回（12月10日時点）。	当該隊員3名は活動期間満了で任期終了。	-	-	19,422
96	ラオス事務所	ラオス北部地域の教員養成校指導教官の能力強化を通じた複式学級運営改善事業	「世界手洗いの日」に先立ち、遠隔地域の初等教育改善に取り組んでいるSVAは、ルアンパバーン県の小学校で手洗いを中心とした衛生教育ワークショップを実施。 ・ 10月14日投稿 JICAラオス事務所Facebookページ（手洗い教室の情報と写真） https://m.facebook.com/1543550082576549/posts/2685620188369527/	2021年度は活動実績なし	2021年度は活動実績なし	外部パートナー：公益財団法人シャンティ国際ボランティア会(SVA)	-	-	22,528
97	青年海外協力隊、ラオス事務所	-	ラオス南部の中核病院であるチャンバサック県病院において、青年海外協力隊の支援による、衛生的手洗い推進の取り組み（CPと作成した動画を用いた訓練等）を継続的に実施。	2021年度は活動実績なし	2021年度は活動実績なし	-	-	-	46
98	東ティモール事務所	-	①JOCV 10周年記念イベントで公衆衛生隊員を中心に手洗いを啓発するためのダンスを実施。 ② FBに上記イベントの動画をアップした。（905個の「いいね」）	0	①200人	-	-	-	70,064
99	東ティモール事務所	東ティモール国立大学工学部人材育成プロジェクト	・ 手洗い場やマスク、サニタイザーを配布し、手洗いを啓発。学内関係者（学生・教員）の手洗い活動を推進した。	ハンドサニタイザー1,000個、マスク3,000枚、手洗い場3か所設置。	2000人（工学部生徒数）	-	-	-	6,000
100	東ティモール事務所	-	・ 井上きみどりさんのポスターをテトゥン語へ翻訳し、事務所Facebookに掲載	-	リーチ人数：1,076人	-	-	-	31,664
101	東ティモール事務所	-	・ 事務所内に手洗いポスターを掲示し、来訪者の手洗いを促進	-	延べ300人 (事務所平均来訪者10名程度)	-	-	-	300
102	東ティモール事務所	国産米の生産強化による農家世帯所得向上プロジェクト	プロジェクトサイトであるファーマーズマーケット店舗及び穀物倉庫へ衛生用品を供与	手洗い用水タンク2基、マスク150箱、ハンドソープ216本、消毒用アルコール75本、手指消毒液5本、フェイスシールド126セット、手袋500枚	170人	-	-	-	170
103	東ティモール事務所	帰国研修員同窓会支援	①ディリ市内の4つの小学校へ手洗い用水タンク、消毒液、ハンドソープを供与。 ②ピケケ市内の3つの中学校で手洗い啓発イベントを実施。ポスター、マスク、石鹸を配布。 ③内務省地方調整員へマスク、ハンドソープ、消毒液、フェイスシールドを供与。	①手洗い用水タンク4基、消毒液4箱、ハンドソープ4箱 ②ポスター40枚、マスク800枚、石鹸80個 ③マスク13箱、ハンドソープ26箱、消毒液13箱、フェイスシールド13箱	①400人 ②800人 ③150人	現地マスコミ（ネット記事、新聞）報道あり	-	-	1,350
104	東ティモール事務所	保健隊員活動先支援	隊員活動先である国立病院へ、ハンドサニタイザー、液体せっけん、マスク等を供与。	ハンドサニタイザー350本、液体せっけん20本、マスク10000枚等	延べ200人	-	-	-	200
105	東ティモール事務所	新型コロナウイルス影響下における手洗い強化プロジェクト	東ティモールにおいて、上水道サービスを担う東ティモール水道公社（BTL）に新型コロナウイルス感染拡大防止対策の手洗いを行うための衛生で安全な水の浄水及び配水・給水に寄与する薬剤や資機材を供与する	①浄水場からの配水網を整備するための配管パイプ一式 ②浄水場で利用する薬剤（塩素等） ③市中に点在する地下水給水のための井戸で利用するポンプ一式	（被益者） ディリ市内で水道公社から配水サービスをうける住民	-	-	-	

各拠点の「健康と命のための手洗い運動」活動事例（2022年3月調査時点）

No.	部署 (チーム名まで)	関連プロジェクト名	取組内容	配布物の数 (ハンドサニタイザー個数、マスク 枚数、ポスター部数など)	啓発人数(人) (イベント参加者数、視聴者数、 いいね！の数など)	備考、今後の予定等 (あれば)	企業連携	企業名	リーチ数(人) (重複有)
106	ベトナム事務所	-	日本ベトナムフェスティバル (JVF) の会場ステージで、所員が手洗いダンスを披露。ボランティアの作成した手洗いダンスビデオも同時にスクリーンに投影。	-	100人程度	-	-	-	-
107	ベトナム事務所	感染症の予防・対応能力向上のための実験室の機能及び連携プロジェクト	技協の新型コロナウイルス緊急支援費により、国際移住機関 (IOM) に業務委託し、カンボジア及びラオス国境の5省の国境防疫の能力強化で、職員 (保健、入管、国境警備隊等) に対する手洗い、衛生活動の強化、ポスター作成等を実施。	ハンドサニタイザー (950)、マスク (9万4千)、N95マスク (3千)、布マスク (200)、仮設手洗يشーション (20)、水ろ過機 (15)、水貯蔵タンク (18)、手洗いポスター (140)	30万人以上 (職員及び国境を往來する人々の総計)	日本 (外務省) の支援での続行が決定	-	-	-
108	ミャンマー事務所	ヤンゴン市水道事業運営改善プロジェクト	①泡式ハンドソープの住民への配布 ②手洗いかンパーン用のパンフレット・チラシを作成し、①と合わせて配布 ③手洗いかンパーン用のバナーの作成し、①の引渡式典に合わせて掲示 ④手洗いの水を確保するためヤンゴン市内にタンクを設置	①8,700個 ②各8,700部 ③1セット ④3個	①・② 約38,000人 *受け取れない世帯がないよう特定のタウンシップに特化して実施したため、当該タウンシップの全世帯数8,700×平均世帯人数4.4人	・現地新聞に掲載 ・現地TVでニュースとして取り上げられた	-	-	-
109	ミャンマー事務所	アジア・アフリカ地域での都市開発分野におけるCOVID-19の影響に関する情報収集・確認調査	①コロナで影響を受けた都市財源層の影響調査 ②当該都市能弱層が居住する区域にある学校、ヘルスセンター内での簡易手洗い台の設置と手洗いの啓蒙・普及促進活動	②簡易手洗い台 (217箇所) ②パンフレット (約120,000部) ②石鹸 (約80,000個) *パンフレットと石鹸はUN-Habitatの活動計画値	②パンフレット配布先 90,500人 (生徒80,000人+インフォーマルセトラー10,500世帯) ②石鹸の配布先 (生徒80,000人) *いずれもUN-Habitatの活動計画値	・コロナによる学校の閉鎖に加え、本年2月に起きた政変で一部地域で戒厳令が公布されているため、簡易手洗い台の設置、その他の活動が遅延	-	-	-
110	モンゴル事務所	-	2020年7月から9月までの間、廃棄物処理における新型コロナウイルス感染症対策支援事業を実施。支援内容は、廃棄物管理従事職員 (ごみ収集員、廃棄物最終処分場職員、消毒液配布職員) への研修、廃棄物管理従事者に向けて、コロナ禍における廃棄物の適正な排出・管理方法を示した研修資料作成、一般市民に向けて廃棄物の適正な排出方法・手洗いの重要性を示した啓発動画・リーフレットなどを作成。	-	2021年9月末現在 ①180人 (18事業所×10名) ②2,000人 (リーフレット枚数) ③150人 (UB市のFacebookいいね数)	-	-	-	-
111	モンゴル事務所	-	・退避中の隊員8名 (小学校教育4名、体育1名、理学療法士1名、バドミントン1名、日本語教師1名) が「感染症予防対策チーム」を作り、手洗いうがい啓発動画 (手洗いチャレンジ)、子供向け感染予防啓発紙芝居動画を制作し、事務所Facebookや事務所Youtubeで配信した。 ◀手洗いうがい啓発動画 (手洗いチャレンジ) ▶ ① https://youtu.be/KXWY2giK7KQ ② https://youtu.be/MXPN53X8vY ③ https://youtu.be/U7Kg2_h1m5A ④ https://youtu.be/RXn2RMW7Gig ⑤ https://youtu.be/JmFNmRrCL4 ⑥ https://youtu.be/vZfbtXt-ZG0 ◀子供向け感染予防啓発紙芝居▶ https://youtu.be/-ChbvNkLNVE	-	2021/9/10時点 ①視聴数285、いいね5 ②視聴数248、いいね10 ③視聴数151、いいね5 ④視聴数124、いいね1 ⑤視聴数355、いいね4 ⑥視聴数178、いいね2 ⑦紙芝居 視聴数183、いいね2	・当該隊員は派遣期間終了あるいは合意書解除済であるが、隊員の派遣が再開した際には、小学校隊員・幼児教育隊員などにこれらツールを活用してもらえよう紹介する予定。	-	-	1,529
112	ブータン事務所	ブータン帰国研修員同窓会	帰国研修員同窓会が開催した帰国報告会において、障害者支援団体が製作したマスクと一緒に井上きみどり氏の漫画を配布し、三密の回避、マスク着用、及び手洗いの励行を呼びかけた。	-	-	-	-	-	-
113	ブータン事務所	その他	ブータンの学術誌Druk JournalのUrbanization編の発行に際して開催されたセミナーの際に、主催者を支援するために作成したノートに井上きみどり氏の漫画等を掲載して、手洗いの啓発に用いた。	-	-	-	-	-	-
114	ブータン事務所	CEP公共放送機関等と連携したサイコ・ソーシャルサポートおよびCOVID-19対策強化	ブータン国内でメンタルヘルス促進に取り組んでいるステークホルダー (保健省、国営放送局等) と協働で、コロナウイルスによるリスクに対応した啓発動画を放映するが、COVID-19対策強化として、手洗い促進の要素が含まれる予定。	-	-	-	-	-	754,000
115	ブータン事務所	Community Empowerment Program	保健省と協働し、乳幼児向けの離乳食/栄養食レシピの動画を製作し国営放送で30日間放送した。動画中に手洗い動画が含まれる。	-	-	-	-	-	754,000
116	バン格拉デシュ事務所	地方行政強化事業	プロジェクトでは、全国500郡 (ユニオンの上位行政単位) における自治能力向上に取り組んでいる。JICAは実施機関である地方自治総局に対し、COVID19への対応策として学校施設での手洗い場整備を提案。9郡から提案が寄せられ、うち7郡に対し承認済み、手洗い場を整備する予定。	-	-	-	-	-	-

各拠点の「健康と命のための手洗い運動」活動事例（2022年3月調査時点）

No.	部署 (チーム名まで)	関連プロジェクト名	取組内容	配布物の数 (ハンドサニタイザー個数、マスク 枚数、ポスター部数など)	啓発人数(人) (イベント参加者数、視聴者数、 いいね！の数など)	備考、今後の予定等 (あれば)	企業連携	企業名	リーチ数(人) (重複有)
117	バングラデシュ事務所	ジョソール県における郡病院の衛生改善を通じた感染リスク削減のための能力向上	ジョソール県内にある郡病院（8カ所）および県病院（1カ所）において、病院内の衛生管理改善を行う計画。手洗い場設置も含まれている。2021年3月1日から契約開始。	各病院に、手洗場（1カ所）、接触防止仕切板等（受付窓口他）の補助設備を整備	県病院1カ所、郡病院6カ所の医師、看護師、事務員等、約1000名	-	-	-	1,000
118	バングラデシュ事務所	井上きみどりさんの啓発漫画ベトナム語翻訳、FB掲載	井上きみどりさんの啓発漫画をベトナム語訳の上で事務所フェイスブックへ掲載。	印刷ポスターの配布（山形病院20部、ワハブクリニック5部）	Facebook上でのいいね！シェア等62件	-	-	-	53,787
119	バングラデシュ事務所	プロジェクト研究「国際 NGO との連携による学校・保健施設の衛生行動改善」	地球環境部が主管する案件。3都市で学校を選定し、手洗い施設を整備しその効果を検証し、効果の高い施設整備や啓発活動について分析の上で普及戦略を検討する。12月現在、教育省との協議を通じて調査実施合意、実施場所選定の調整を始めるところ。	各学校にSato tap（簡易手洗い器具）を供与	公立小学校15校の約3,000名	-	-	-	3,000
120	インド事務所	アッチー・アードトキャンペーン	①手洗い啓発イベントを6回開催した（計260人参加） ②爪切りを配布した（215個） ③SATO TAP を配布した（47個）	②爪切り52,904個 ③SATOTAP 10,398個	①計457,076名参加	-	○	LIXIL、貝印、ユニ・チャーム、ヤクルト、良品計画、アメグミ、日水コン、講談社、関西加工、サンリオ、朝日イン	100,000,000
121	インド事務所	アッチー・アードトキャンペーン	①マスクを配布した ②手洗い石鹸を配布した ③啓発ポスターを配布した ④啓発マンガリーフレットを配布した（講談社・「はたらく細胞」） ⑤啓発動画を配信した（YouTube、Facebook） ⑥上記⑤以外のメディアによるリーチ（新聞、テレビ、SNS啓発メッセージ投稿）	①マスク445,702枚 ②石鹸18,810個 ③ポスター22,187枚 ④リーフレット85,828枚	⑤視聴者数29,962,774名（2022年3月31日現在）	⑥の新聞・テレビでの報道は現地できりあげられたもの。 2022年度も啓発イベント・キャンペーンを実施予定。	-	-	
122	ネパール事務所	-	・「正しい手洗い漫画」のポスター（英語・ネパール語）を事務所Facebookに掲載。 ・給水省、および長期専門家派遣先のネパールエネルギー公社内に「正しい手洗い漫画」のポスター（英語・ネパール語）を掲示し、啓蒙を図った。 ・ネパール帰国研修員同窓会の協力を得て、井上きみどりさんの漫画を同窓会年報に掲載し、啓蒙を図った。	-	いいね数：50、シェア数：9	-	-	-	
123	パキスタン事務所	-	漫画をウルドゥ語に翻訳した。	-	-	-	-	-	
124	パキスタン事務所	-	ウルドゥ語の漫画をラミネーションし、プロジェクト、実施機関、学校等に配布した。	1,000	1,000	-	-	-	
125	パキスタン事務所	-	日本語、英語M、ウルドゥ語の漫画をパキスタン事務所Facebookに投稿した（4/12）	-	23	-	-	-	
126	パキスタン事務所	-	イスラマバード日本人学校の生徒に対し、漫画を使った正しい手洗い方法と、水を無駄にしない手洗いの授業を行った。（5月21日）	-	8	-	-	-	
127	パキスタン事務所	-	イスラマバード日本人学校の生徒に対し、漫画を使った正しい手洗い方法と、水を無駄にしない手洗いの授業を行った記事をパキスタン事務所facebookで投稿した。（6/14）	-	50	-	-	-	
128	パキスタン事務所	オルタナティブ教育推進プロジェクトフェーズ2	プロジェクトが支援するノンフォーマルセンター（公教育の学校に通えないオーバーエイジの学齢期の子供に速習法の教育プログラムを提供する学習センター）において、ウルドゥ語に翻訳した井上きみどりさんの漫画を使った啓発活動を実施。	-	100	写真、動画を共有可能。	-	-	
129	スリランカ事務所	-	井上きみどりさんの手洗い漫画をシンハラ語とタミル語に翻訳し、事務所FBに掲載した。（2021年8月に2020年11月に投稿した同漫画をリポスト）	-	いいね数：25、シェア数：5	-	-	-	7,885
130	スリランカ事務所	-	事務所内で利用している手洗い促進のためのポスターとその取り組みを事務所FBで紹介した。	-	いいね数：23、シェア数：2	-	-	-	7,880
131	キルギス共和国事務所	-	井上きみどりさんの手洗い漫画をロシア語に訳し、事務所FBで発信。ロシア語版は広報室にも共有。	-	-	-	-	-	6,687
132	タジキスタン事務所	-	井上きみどりさんの手洗い漫画（キルギス事務所がロシア語に訳したものを共有してもらった）、2020年10月事務所FBで発信。	-	いいね！8	-	-	-	

各拠点の「健康と命のための手洗い運動」活動事例（2022年3月調査時点）

No.	部署 (チーム名まで)	関連プロジェクト名	取組内容	配布物の数 (ハンドサニタイザー個数、マスク 枚数、ポスター部数など)	啓発人数(人) (イベント参加者数、視聴者数、 いいね！の数など)	備考、今後の予定等 (あれば)	企業連携	企業名	リーチ数(人) (重複有)
133	バブアニューギニア事務所	フィラリア対策プロジェクト	フィラリア投薬結果を図る定点検査時（2020年12月実施）、保健スタッフ・保健ボランティア、対象住民の感染防止のために以下を提供。 ・手袋500枚 ・マスク3,000枚 ・消毒液750本（500ml） ・体温計50台	・手袋500枚 ・マスク3,000枚 ・消毒液750本（500ml） ・体温計50台	-	2021年4月以降に東ニューブリテン州及び西ニューブリテン州にて投薬を実施しますが、その際にもPPEを配布予定。	○	エーザイ	3,500
134	バブアニューギニア事務所	ラム系統送電網強化事業	①2020年10月24日に地元の労働者とMARAWASAコミュニティの住民計136名を対象に、コミュニティ健康診断プログラムを開催。 身長・体重・血圧といった基礎的な測定を行いつつ、コロナ感染予防策を紹介。 ②プロジェクトオフィス内に手洗い漫画を掲示	-	①136名 ②30名程度	-	-	-	166
135	バブアニューギニア事務所	ナザブ空港改修事業	1. 手洗い漫画を空港内の以下の場所に掲示 ①ターミナルの入り口 ②待合トイレ（男女） ③到着の預け入れ荷物のピックアップ地点 2. GABMAZUNG PRIMARY SCHOOLとGABSONGKEG ELEMENTARY SCHOOLに配布。	1. ①計2枚 ②計2枚 ③1枚 2. 計300枚	-	空港利用者は約33万人（年間） 1家族4名として、学校関係者は1200名。	-	-	330,000
136	バブアニューギニア事務所	現地保健ドナー定例会	手洗い漫画を定例会（オンライン）で紹介	-	230人（オンライン会議登録者数）	-	-	-	230
137	バブアニューギニア事務所	事務所広報	JICA PNG事務所のFacebookページで手洗い漫画を紹介した。 ①2021年3月16日 https://www.facebook.com/jicapng/posts/3931516636887592 ②2021年8月31日 https://www.facebook.com/jicapng/posts/4423849837654267	-	5,687人	-	-	-	8,343
138	バブアニューギニア事務所	バブアニューギニア国初等理科教員養成校強化プロジェクト	手洗い漫画（英語とビジン語版）をプロジェクトスタッフ及びC/Pに配布（30部）、及びオフィスに掲示（2部）	②ポスター32部	30人	-	-	-	-
139	バブアニューギニア事務所	フィラリア対策プロジェクト	①「正しい手洗い啓発」漫画（ビジン語版）の配布と啓発活動（2021年8月）： ニューアイルランド州でのフィラリア対策活動の際に、13の小学校とコミュニティの子どもたち8,200人に印刷物を配布した。配布の際には、州保健局スタッフより子どもたちに向けて正しい手洗いの方法や必要性についての啓発を実施した。 ②「正しい手洗い啓発」漫画（ビジン語版）の配布（2021年8月保健局に配布、啓発は10月以降） 東ニューブリテン州保健局と西ニューブリテン州保健局内に対し、「正しい手洗い啓発」漫画（ビジン語版）の印刷物を配布した。今後保健局スタッフが対象者へ啓発活動で利用する予定。 ③マスク・手袋・アルコール消毒剤の配布 ニューアイルランド州において、フィラリア対策活動の際に、従事する保健局スタッフや保健ボランティアに対し、マスク・手袋・アルコール消毒剤を配布した。 ④PJ活動の協力会社である民間企業のエーザイ（株）より、マスク50,000枚、手袋35,000枚/17,500双の寄贈を受け、JICAを通して、東ニューブリテン州保健局と西ニューブリテン州保健局にそれぞれ引き渡した。今後実施予定のフィラリア対策活動で活用する予定。	①漫画： カラー印刷（A4）：2,000枚 カラー印刷＋ラミネート加工（A4）：1,200枚 白黒印刷（A4）：5,000枚 ②漫画： 白黒印刷（A4）：2州合わせて2,800枚 ③マスク1,200枚、手袋1,000枚/500双、アルコール消毒剤60本 ④マスク50,000枚、手袋35,000枚/17,500双	①41,000人 ②保健局スタッフ50名 ③保健医療従事者とボランティア約115名 ④保健医療従事者50名	-	○	エーザイ	-
140	青年海外協力隊 ドミニカ共和国事務所	「ドミニカ日系人協会に対する新型コロナウイルス感染予防対策支援」	日系社会青年海外協力隊員3名が、活動先であるドミニカ日本語学校の生徒達へのオンライン授業において新型コロナウイルス感染症予防啓発授業を行い、感染経路や予防手段の確認、手洗い方法やマスクの効果的な付け方の指導等を行った。 上記活動は、ドミニカ日系人協会関係者に対する感染予防資材供与（布製マスク1,500枚、使い捨てゴム手袋100枚入り×200箱、アルコールジェル300本、アルコールスプレー300本）と合わせて2020年8月に実施されたものであるが、配属先の要望等も踏まえ、活動先に対する手洗い指導を含む啓発授業が実施された。 地方校ダハボン校では11人、ハラバコ校では6人を対象にオンラインで正しい手洗い方法を指導済みで、出張訪問時には授業毎に手洗いを実施し習慣化することを計画している。	・布製マスク1,500枚 ・使い捨てゴム手袋100枚入り×200箱 ・アルコールジェル300本 ・アルコールスプレー300本	-	今後も、活動先に対する手洗い指導を含む啓発授業が実施される見込み。	-	-	21,500
141	ホンジュラス事務所	-	事務所共有スペース、トイレ内（男トイレ・女トイレ）に「正しい手洗いポスター」を設置した。	5枚	30人	-	-	-	-
142	ホンジュラス事務所	-	事務所関係者（NS、日本人スタッフ）のワッツアップグループを通し、JICA作成の手洗い関連動画・JICAキャンペーンページを共有した（3回）。	JICA作成ビデオ等3回	30人	30人×3回	-	-	-

各拠点の「健康と命のための手洗い運動」活動事例（2022年3月調査時点）

No.	部署 (チーム名まで)	関連プロジェクト名	取組内容	配布物の数 (ハンドサニタイザー個数、マスク 枚数、ポスター部数など)	啓発人数(人) (イベント参加者数、視聴者数、 いいね！の数など)	備考、今後の予定等 (あれば)	企業連携	企業名	リーチ数(人) (重複有)
143	ホンジュラス事務所	-	所内JICAスタッフのメール署名に手洗いマークとJICAホームページの手洗いキャンペーンページのリンクを付けた。	手洗いロゴとJICAキャンペーンページリンク	30人	30人 x 20関係者	-	-	
144	ホンジュラス事務所	-	中米域内で実施した中米独立200周年記念ウェビナーのフライヤーに手洗いロゴ及び短い説明文を加え配布・拡散した。	フライヤー1	160接続	プレスリリース（16メディアで掲載）、ジャイナビお知らせ掲載、ホンジュラス・エルサルバドル・グアテマラ事務所のFBを通して拡散、各スタッフからのメールによる事業関係者への拡散。	-	-	
145	ホンジュラス事務所	-	中米独立200周年記念200周年記念のイベント広報として携帯用ハンドサニタイザーミニボトルを制作、配布した。	100個	-	-	-	-	
146	ホンジュラス事務所	-	自宅トイレの子供が目の届く位置に手洗い漫画(井上きみどりさんの正しい手洗い漫画)を貼った。	1家庭	-	手洗い部分だけを拡大したバージョンを作り、小さな子供も一目でわかるものの方が興味を引きそう。	-	-	
147	ホンジュラス事務所	-	事務所カレンダーに、NSらに協力を依頼し、手洗い写真を掲載。	800部	-	-	-	-	
148	ホンジュラス事務所	-	10月15日の世界手洗いの日に同記念日を周知するポストに加え、事務所作成ビデオを投稿した。	FB投稿1件、ビデオ投稿1	-	https://fb.watch/cfalW6w_vK/	-	-	
149	ホンジュラス事務所	-	事務所FBに手洗い関連の啓発記事を投稿（手洗い写真、FBカバー）	FB投稿2件	-	-	-	-	
150	ホンジュラス事務所	地域警察プロジェクト	ミニハンドサニタイザーを研修参加者に配布した。	100個	100人	-	-	-	
151	ホンジュラス事務所	-	アニメ「はたらく細胞-英語版」を掲載	1記事	6人	-	-	-	
152	メキシコ事務所	-	1、2020年10月16日 広報室作成Youtubeの手洗い動画（スペイン語版）をFBに掲載 リーチ数 497 いいね 15 シェア 2 2、2020年6月16日 井上きみどりさんの手洗い漫画（スペイン語版）をFBに掲載 リーチ数 45,631 いいね 121 シェア 389	-	-	-	-	-	
153	メキシコ事務所	メキシコ沿岸部の巨大地震・津波災害の軽減に向けた総合的研究	防災プロジェクトの一環として、メキシコ政府管轄の治安市民保健省・国家市民保護部と防災に関する漫画冊子を作成。リスク管理領域、非常時にどのように行動するか、冷静を保つか、どのように子供たちを守るか、コロナ禍における心のケア、休校中の問題がテーマのため、同冊子内に井上きみどりさんの「正しい手洗い漫画」と「心のケア漫画」を掲載。	漫画冊子10,000冊	10,000人	-	-	-	
154	ニカラグア事務所	ニカラグア・コロナ禍における脆弱層への支援強化にかかる調査	①案件受託したNGOが、家族や障害者向けに手洗い促進のポスター、ビデオ、GIF、シールなどの作成を実施。 ②案件受託したNGOが、児童向けに、遊びや音楽、ポスターを通じて手洗い促進を実施。	①90セット（衣料洗剤3個、ハンドソープ3個、塩素1L、15Lバケツ1個、柔軟剤1個、50個入りマスク2箱、アルコール1L） ②塩素853ガロン、アルコール853ガロン、水拭き帚239本、帚239本、液体石鹸853個、マスク5,101枚	①90家族 ②4,495児童	裨益者は、手洗いの重要性を理解したとのこと。	-	-	
155	パナマ事務所	-	手洗い運動ロゴを活用したノート及びカレンダーを当地CPに配布し、手洗いによる感染予防対策を促した。	カレンダー600枚 ノート400冊	1000名	-	-	-	
156	パナマ事務所	-	パナマ女性庁とジェンダーバイオレンス撲滅ノートを作成。その中に手洗い運動ロゴを活用し、手洗いによる感染予防対策も促した。	ノート500冊	500名	-	-	-	
157	パナマ事務所	(2021年度候補)「中南米地域生活改善アプローチを通じた持続的農村開発(A)」フォーアアップ協力	CPが実施したワークショップにおいて、消毒ジェルやアルコール等を配布した。また、生活改善技術により手洗い場を20箇所設置したことにより、感染予防を促した。	アルコールジェル100 消毒液100 手洗い場20 消毒 マスク60	120名	-	-	-	
158	パラオ事務所	JICA健康と命のための手洗い運動	2021/10/15 事務所FBにて、JICA広報部「世界手洗いの日」記事をシェア掲載。	-	112人reached	-	-	-	
159	パラオ事務所	-	2021/10/15 在パラオ日本国大使館「草の根・人間の安全保障無償資金協力コロール州・アイライ州学校手洗い場整備計画」引渡式に参加、関連記事を事務所FBにてシェア掲載。	-	330人reached	-	-	-	
160	パラオ事務所	JICA健康と命のための手洗い運動	2021/10/15 事務所FBにて、世界手洗いの日に合わせて手洗い運動に関する記事を投稿載。 ①井上きみどりさんの正しい手洗い漫画	-	218人reached	-	-	-	
161	パラオ事務所	JICA健康と命のための手洗い運動	2021/11/10 事務所FBにて、YouTube「JICA's Handwashing for health and Life campaign throughout the world」をシェア掲載。	-	193人reached	-	-	-	
162	ポリビア事務所	ラバス県とウユニ市における観光セクターポストコロナ復興活動支援	観光事業者（行政、ホテル、ガイド、飲食店等）に向けて衛生対策の研修を実施し、手洗い・手指消毒についても指導した。	-	-	同様の研修を他3都市で実施予定（コバカバーナ、ティワナク、ウユニ）	-	-	

各拠点の「健康と命のための手洗い運動」活動事例（2022年3月調査時点）

No.	部署 (チーム名まで)	関連プロジェクト名	取組内容	配布物の数 (ハンドサニタイザー個数、マスク 枚数、ポスター部数など)	啓発人数(人) (イベント参加者数、視聴者数、 いいね!の数など)	備考、今後の予定等 (あれば)	企業連携	企業名	リーチ数(人) (重複有)
163	ボリビア事務所	帰国研修員同窓会及び青年海外協力隊	帰国研修員同窓会が企画し、一時帰国中の隊員有志がボリビア国内での手洗い運動の啓発に関する動画を発信 https://youtu.be/58pnWDsQJMA	-	-	-	-	-	31
164	ボリビア事務所	一時帰国中隊員	2018年度4次隊の隊員有志が派遣国関係者の手洗いの動画を制作し、当事務所のFacebookに掲載。また協力隊事務局の広報担当にも共有。 https://www.facebook.com/JICABolivia/videos/973870819702893/?sfnsn=wa	-	-	-	-	-	17,168
165	ボリビア事務所	「地域保健システム向上プロジェクト」フォローアップ協力	プロジェクトの対象病院に病院に手洗い啓発ポスター（JICA手洗いロゴ付）を掲示、また、井上きみどりさんの手洗い漫画ポスターを配布	-	-	-	-	-	-
166	ボリビア事務所	-	サンタクルス県国際展示会“EXPOCRUZ”での手洗いキャンペーン実施。 9/17～約1週間開催された同展示会はボリビア国内で最大規模の産業展示会であり、パンデミック下で昨年は開催されなかったものの、今年は感染対策をとった上で開催され、毎日2万人以上の参加（計12万人以上）があった。 JICAボリビアの支援により活動をはじめている保健セクター-官民連携グループであるGAPPS（Health Public Private Partnership Group）の主要メンバーである“HPmedical”のアースにて、井上きみどりさんの手洗い漫画の動画を上映、同漫画のポスター-配布等の活動を行った。	ポスター部数：40部	イベント参加者数：約12万人	JICAボリビアのFaceBookに記事を投稿。 https://www.facebook.com/JICABolivia/posts/163224302657915?_cft__[0]=AZUGlTFdcKXrW_SkimAetSxi8YhHYrdnTOCvj3Z7mhquuA62vWcRbSjZc8ModLjLnzmXKeis-4HixE4NI3_ZRKHOPJZV8KQcNlpm0q1Fp_w2nbhmxItGOk2xuH7W7eoaJlp18EJzdzdfJNug9iVNI&_tn=%2C0%2CP-R	-	-	134,000
167	ブラジル出張所	NGTM-Núcleo de Gerenciamento de Transporte Metropolitano	2月12日パラ州の円借款事業実施機関向けに、2月別添の喚起レターを出しており、手洗いキャンペーンの啓発サイトを紹介	-	-	-	-	-	-
168	ブラジル出張所	CASAN Companhia Catarinense de Águas e Saneamento	3月18日サンタカタリナ州の円借款事業実施機関向けに、2月別添の喚起レターを出しており、手洗いキャンペーンの啓発サイトを紹介	-	-	-	-	-	-
169	ブラジル出張所	SABESP Companhia de Saneamento Básico do Estado de São Paulo	3月18日サンパウロ州の円借款事業実施機関向けに、2月別添の喚起レターを出しており、手洗いキャンペーンの啓発サイトを紹介	-	-	-	-	-	-
170	ブラジル事務所	COVID予防対策	21年4月7日実施 感染者数が増加傾向だった際、所内にて予防対策勉強会を実施の際に、手洗いについても紹介。事務所に手洗いキャンペーンの啓発サイトを紹介	なし	10名（所内希望者）	ウイルス量などのくらい手につくのか、残存期間はどのくらいかなどの質問があった。	-	-	-
171	ブラジル事務所（アルゼンチン支所）	COVID予防対策	21年4月23日アルゼンチン支所のスタッフに対して、COVID予防対策の講話を実施。手洗いキャンペーンの啓発サイトを紹介	なし	11名（アルゼンチン所内関係者）	OA機器の消毒や手指などのくらいウイルスが付着しているかなど具体的な質問があった。	-	-	-
172	ブラジル事務所	健康管理オリエンテーション	手洗いについて再派遣隊員に健康管理オリエンテーションの際に実施しあ。	-	-	3 特になし	-	-	-
173	ブラジル事務所	健康管理ブリーフィング	アルゼンチン支所のVC着任の際にブリーフィングを実施、NS,VCを含む4名に正しい手洗いについて説明	-	-	4 特になし	-	-	-
174	エクアドル事務所	地震と津波に強い街づくりプロジェクト	①現在作成中の自然災害対策啓発用のビデオ8点の全てのビデオの中に、「感染予防を忘れないで」という数秒のパートがあり、その中に「Lavarse Manos（手を洗う）」というアイコンが表示される。ビデオは、プロジェクトの6つのパイロット市へ配布、SNGREのソーシャルメディアへの投稿（Facebook/Twitter）を予定しており、パイロット市6市（計約70万人）の市民と、ソーシャルメディアを通じたパイロット市以外のエクアドル国民にも波及することが想定される。 ②現在作成中の自然災害対策啓発用のポスター8点にはアルコール、感染防止手袋、マスク等の絵が含まれ、手洗いのアイコンをポスター内に加えることを検討中。ポスター4000枚（8種×各種500枚=計4000枚）を6パイロット市を中心に配布予定で、パイロット市の市民（計約70万人）が対象。	・ポスター4000枚（8種×各種500枚=計4000枚）	パイロット市6市（計約70万人）の市民と、ソーシャルメディアを通じたパイロット市以外のエクアドル国民にも波及	-	-	-	700,000
175	エクアドル事務所	キト市モンバス川流域及びキトゥンベ地区貧困若年層への感染予防支援	①ラジオ・ビデオ教材を通じた感染防止啓発活動に手洗い啓発が含まれる(地区のラジオ、SNS等を通じて普及)。 ②手洗い等の啓発を目的とした移動式手洗いステーションの設置とそれを用いた研修実施。	●ラジオ、SNSに衛生注意喚起メッセージをアップ ●キト市内10箇所に移動式手洗いステーションを設置	①SNSアクセス数109,698 ②手洗いステーション使用対象者1,850名	-	-	-	111,548
176	エクアドル事務所	キト市新型コロナ衛生啓発	キト市ラジオ局2局を通じた感染防止啓発活動に手洗い啓発が含まれる。	●ラジオ放送で音楽に乗せた衛生注意喚起メッセージを放送 ●SNSに映像と音楽に乗せた衛生注意喚起ビデオをアップ	ラジオ対象聴者約71万人 SNS視聴31,839人	-	-	-	741,839
177	エクアドル事務所	北部国境地帯復興のための地域開発戦略	工国北部国境地域を含むラジオ局30局を通じた感染防止啓発活動（スペイン語・ケチュア語）に手洗い啓発が含まれる。	●ラジオ放送で音楽に乗せた衛生注意喚起メッセージを放送	対象者は人口の約16%、約272万人	-	-	-	2,720,000
178	エクアドル事務所	地域における障害者に焦点を当てたインクルーシブ防災の実施能力強化	障害者、特に知的障害者を持つ家族100世帯を対象に感染防止教材を作成、配布、研修実施。教材の中に手洗い啓発が含まれる。	●パンフレット500部×2種類を配布	対象家族100世帯	-	-	-	400

各拠点の「健康と命のための手洗い運動」活動事例（2022年3月調査時点）

No.	部署 (チーム名まで)	関連プロジェクト名	取組内容	配布物の数 (ハンドサニタイザー個数、マスク 枚数、ポスター部数など)	啓発人数(人) (イベント参加者数、視聴者数、 いいね！の数など)	備考、今後の予定等 (あれば)	企業連携	企業名	リーチ数(人) (重複有)
179	エクアドル事務所	ボランティア事業	避難一時帰国中のボランティアが作成した手洗い啓発ビデオをFacebookにて発信（JICAポリビア事務所Facebookに掲載されたものを共有）。エクアドル退院1名とそのホストファミリーが参加。	●SNSにビデオをアップ	3086視聴あり、5回シェア	-	-	-	8,774
180	エクアドル事務所	事務所内感染予防対策	3月16日に非常事態宣言が出されてから、事務所に消毒用アルコール、アルコールジェルを各所に設置し、洗面所には手洗い方法のポスターを掲示し、事務所スタッフに対し手洗いを含む感染予防啓発活動を継続実施中。	●手洗い説明ポスターを事務所内 トレに掲示	事務所スタッフ15名	-	-	-	15
181	ペルー事務所	地方アマゾン給水・衛生事業	案件監理支援現地専門家（ローカルコンサルタント）による当円借款案件の完成状況確認のためのサイト訪問において、裨益世帯に対し液体除菌ジェルと固形石鹸（各3,000個）を配布し、手洗い助行の重要性を啓発中。	-	-	-	-	-	12,000
182	ペルー事務所	-	・10月22日にペルー事務所facebookで運動の動画を紹介（ポリビア事務所作成動画のシェア） https://m.facebook.com/story.php?story_fbid=1498966553645668&id=218529898356013 （再生総 合回数：671回）	-	12月時点：再生総合回数671回	署名に積極的にロゴも活用。	-	-	14,104
183	ペルー事務所	課題別研修「都市鉄道の運営」 フォローアップ協力	課題別研修「都市鉄道の運営」のフォローアップ協力として、課題別研修参加者の所属機関である公共交通施設投資監督庁（OSITRAN）の能力強化、リマメトロ1号線の利用者のマナー向上、リマメトロ1号線の利用者へのCOVID-19予防に係る活動を行った。この中で、リマメトロ1号線の利用者のマナー向上（除菌ジェル携行、手洗い励行含む）の啓蒙活動（OSITRANおよびJICAペルーSNS及びWeb上での啓発ビデオ発信）、またCOVID-19予防のため、メトロ1号線の利用者及びOSITRANの監督者向けに衛生キットを供与・配布した。	除菌アルコールジェル（13,440 個）、液体石鹸（13,440個）、 フェースシールド（13,600個）、マ スク（4,000枚）、ゴム手袋（2,000 組）	いいね！62（JICAペルー FACEBOOK、3/29現在）	-	-	10,404,167	
184	アメリカ合衆国事務所	-	①国内広報室による手洗い漫画広報ツイートをアメリカ事務所のツイッターでリツイート。 https://twitter.com/jica_usa ②Center for Global Development主催ウェビナーに戸田上級審（当時）とともにマダガスカル水・衛生大臣が登壇し、同国における手洗い運動及びJICAの協力について紹介。 https://www.cgdev.org/event/supporting-african-health-systems-time-covid-19-view-japan ③ジョージ・ホプキンス大学SAIS主催のウェビナーに中澤理事が登壇し、マダガスカルの手洗いソングを紹介しつつ、重要性について強調。 https://www.jica.go.jp/english/news/field/2020/20200826_01.html ④T20：COVID-19東アジアの対応イベント（SAIS主催）に中澤理事が登壇し、「手洗い運動プラットフォーム」を紹介。 https://www.jica.go.jp/usa/english/office/topics/c8h0vm0000czwtl-att/topics_201117.pdf	-	-	-	-	-	12,345
185	アメリカ合衆国事務所	-	①広報室や在外公館（印）による手洗い漫画広報ツイートをアメリカ事務所のツイッターでリツイート。 https://twitter.com/jica_usa	-	Twitter フォロワー数：3,375	-	-	-	3,613
186	パレスチナ事務所	難民キャンプ改善プロジェクト	NSの子女が通うジャラゾーン難民キャンプUNRWA小学校にて、手洗い漫画を手洗い場に張り、手洗いの啓発を行うとともに、子どもが手を洗う情景の動画と写真を日本国内向け広報用に撮影。写真はJICAカレンダーに採用。撮影の際、ネットに石鹸を入れる日本の方法を紹介し、それ以降、同小学校の一階手洗い場に水栓毎に石鹸が新たにとりつけられ、子どもたちがイラストを見ながら楽しく手洗いするようになったと報告されている。	-	-	-	-	-	-
187	ヨルダン事務所	「社会性育成を主眼に置いた特別活動実践と体制構築事業」	以下の活動をCOVID-19対応として追加的に実施（本案件では、日直などを含めた特活プラスアルファの活動を推進）。 ・ヨルダン保健省が配布する「手洗いに関する掲示物」を子どもにもわかりやすい形に編集し、対象の学校に配布。 ・9月からの学校再開時には、消毒用ジェルを配布するとともに使用方法を日直が説明するように追加。 （ヨルダンの公立学校では手洗い場の数はかなり限られているため） ・遠隔教育に移行後は、日直が必ず言うべき言葉に「外から帰ってきたら手を洗いましょう」という文言を追加。	-	-	-	-	-	-
188	ヨルダン事務所	いのうえきみどりさん手洗い漫画のヨルダン版アラビア語翻訳	本部広報室が作成したいのうえきみどりの漫画を、ヨルダン方言のアラビア語に翻訳し、事務所Facebookに掲載（ https://www.facebook.com/jicajordan 参照。10月27日に投稿）。また同アラビア語版はイラク事務所およびパレスチナ事務所からも共有を依頼されたため、共有。	-	-	-	-	-	1,306
189	ヨルダン事務所	食事時の注意啓発ポスターの事務所内掲載	本部健康管理室からお知らせで動員のあった、食事時の注意啓発ポスターをプリントアウトして事務所のラウンジに掲載（2020年8月25日～2020年12月16日）。	-	-	-	-	-	-

各拠点の「健康と命のための手洗い運動」活動事例（2022年3月調査時点）

No.	部署 (チーム名まで)	関連プロジェクト名	取組内容	配布物の数 (ハンドサニタイザー個数、マスク 枚数、ポスター部数など)	啓発人数(人) (イベント参加者数、視聴者数、 いいね!の数など)	備考、今後の予定等 (あれば)	企業連携	企業名	リーチ数(人) (重複有)
190	ヨルダン事務所	地球環境部「JICA 健康と命のための手洗い運動」事務局から案内があった手洗い啓発ポスターの事務所内掲載	本部地球環境部から案内があった「JICA 健康と命のための手洗い運動」のリーフレットP4に掲載され、ポスターの掲出を勧奨されていた、「羽海野チカさんポスター」のアラビア語版を作成し、事務所内ラウンジに掲載（2020年12月17日～）。	-	-	-	-	-	-
191	ヨルダン事務所	COVID-19注意喚起ポスターの事務所内掲載	ヨルダン保健省が作成したアラビア語によるCOVID-19注意喚起ポスターを事務所入り口に掲載（2020年6月～）。	-	-	-	-	-	-
192	エジプト事務所	Value in Lifeを通じた新型コロナウイルス予防啓発プログラム	スタンダードアローン型コミュニティ・エンパワメント・プログラムにおいて実施。エジプト全土（10県）において、小学校児童及び就学前幼児を主な対象に、新型コロナウイルス感染予防を目的とした、手洗い・うがいを励行する啓発活動を実施する。この他に、全国30箇所の青年センターにおいても啓発活動を行う他、SNS等を用いた広報も並行して実施していく。詳細には以下のとおり。 【対象サイト】 ①対象小学校：100校（公立小学校） ②保育園：50園（就学前の教育と保育の質向上プロジェクトの活動サイト） ③地方スポーツセンターにおける手洗い・うがい開発活動の実施。 【直接被益者数】 ・100名の若者（研修講師） ・3,750人（児童、幼児） ・3月21日、（エジプト）日本商工会に本事業を紹介した他、今後の協力／連携を希望する企業を募集した。	ポスター 15万枚（4月に10万、6月に5万枚）、ちらしを10万枚印刷予定。	・100名の若者（研修講師） ・3,750人（児童、幼児）	1月：研修マニュアル作成【実施済】 2月～3月：講師向け研修の実施【実施中】 【今後の予定】 4月：小学校、保育園での研修の実施 6月：地方スポーツセンターでの活動 2月～8月：広報活動 2月に設立したウェブサイト及びSNSページ http://valuesinlife.net/ https://www.facebook.com/vlauesinlife https://www.instagram.com/valuesinlifeactivities https://twitter.com/ValuesInLife	-	-	153,850
193	エジプト事務所	事務所広報	・井上きみどりさんの手洗いポスターを協力隊OGの支援を得てエジプト版アラビア語に翻訳し、事務所F Bで展開。（2020/11/22） ・上記ポスターを1,000部印刷し、今後事務所で作成のカレンダーやグリーティングカード共にカウンターパート、大使館、日本人学校などに配布済。 ・3月21日、（エジプト）日本商工会にて上記ポスターを紹介、希望する企業に配布。当該企業の事務所や工場で展開予定（大成建設、伊藤忠から希望あり配布済）。 ・E-JUSTにおいても展開済。	1,000部	-	-	-	-	12,554
194	エジプト事務所	就学前の教育と保育の質向上プロジェクト	・保育園300園に供与する感染症予防・対策物品（衛生キットなど）の調達実施中（配布は1月以降の見込み） ・保育士を対象とした衛生研修実施予定（12月～1月見込み） ・井上きみどりさんの手洗いポスターアラビア語版を保育園に印刷・配布予定	非接触体温計（300本） 非N95マスク（900箱） アルコール消毒液（600本） ワイパー（拭き掃除用）（300箱） 液体せっけん（600）子供用非N95マスク（300箱） 園児用くつばこ（300個） 屋内換気扇（200個） 一般用手袋（50箱）	保育園300園	-	-	-	-
195	エジプト事務所	学びの質改善のための環境整備プロジェクト	・特別活動（学級指導）を用いた手洗い指導授業について、映像を作成し普及を図る予定（映像のスクリーン最終確認中） ・井上きみどりさんの手洗いポスターアラビア語版を小学校に印刷・配布予定	-	-	-	-	-	-
196	エジプト事務所	就学前の教育と保育の質向上プロジェクト	・教材研究分科会に属する隊員（幼児教育、障害児・者支援、学校保健、青少年活動）がエジプトの母親・子ども達に遊びや教材の作り方をFacebook・Youtubeで配信中。「手洗い動画」も作成し配信した。	-	-	現在JICAウェブサイトのJICA 衛生啓発ツール紹介のためのプラットフォームページにでも紹介されている。 https://www.jica.go.jp/activities/issues/water/sanitation/index.html	-	-	-
197	エジプト事務所	病院の質向上プロジェクト	・2021年1月、IPC遠隔教材（英題：The Importance of Strengthening IPC with“KAIZEN”、日・英・アラビア・西、仏の5か国語）の作成を行い、その中で医療従事者向け手指衛生に関するモジュールがある。また、2021年2月に実施したファシリテーター養成研修のIPCに関する講義の一環として、参加者12名による同映像教材の視聴を行った。同映像教材は、YouTube（JICA-NET Library）にて、一般視聴可能である。	-	12名	・今後、プロジェクト対象病院関係者（病院管理者、病院質部門等）に、同映像教材の視聴を呼びかける予定である。 ・2020年度JICA東京課題別研修「カイゼンを通じた保健医療サービスの質向上」のコース参加者も同映像教材を視聴。また、JICAイラク事務所にも同映像教材を提供、現地研修で使用したと聞いている。	-	-	-
198	エジプト事務所	Value in Lifeを通じた新型コロナウイルス予防啓発プログラムフェーズ2	スタンダードアローン型コミュニティ・エンパワメント・プログラムにおいて実施。エジプト全土（16県）において、小学校児童及び就学前幼児を主な対象に、新型コロナウイルス感染予防を目的とした、手洗い・うがいを励行する啓発活動を実施する。この他に障害児・者、親のいない子供たちの施設などを運営するNGOにおいても啓発活動を行う他、SNS等を用いた広報も並行して実施した。詳細には以下のとおり。 【対象サイト】 ①対象小学校：160校（公立小学校） ②保育園：800園（就学前の教育と保育の質向上プロジェクトの活動サイト） ③社会的弱者支援のNGO：80か所 【直接被益者数】 ・160名の若者（研修講師） ・7200人（児童、幼児）	-	-	2021年10月中に開始予定。	-	-	-

各拠点の「健康と命のための手洗い運動」活動事例（2022年3月調査時点）

No.	部署 (チーム名まで)	関連プロジェクト名	取組内容	配布物の数 (ハンドサニタイザー個数、マスク 枚数、ポスター部数など)	啓発人数(人) (イベント参加者数、視聴者数、 いいね！の数など)	備考、今後の予定等 (あれば)	企業連携	企業名	リーチ数(人) (重複有)
199	チュニジア事務所	-	2019～2次隊2名が主となり同期隊員協力のもと、アラビア語チュニジア方言で手洗い動画を作成し、事務所及び作成にかかわった隊員のYoutubeとfacebookでアップした。 https://www.youtube.com/watch?v=uvF9Qt3FDpE 10月14日、事務所facebookで10月15日の「世界手洗いの日」に係る記事をアップし、その中で上記の手洗い動画を再アップした。 https://www.facebook.com/285939554916393/posts/2067151733461824/?app=fbl	0	FB元記事 (6/11) 「いいね」事務所facebook：52人 再生回数：1236回 FBアップ記事 (10/14) 「いいね」事務所facebook：12人 「いいね」隊員facebook：83人 再生回数：268回	今後赴任する隊員に紹介し、この動画の活用方法を検討予定。 3月18日、現在チュニジアで活動する全7名の隊員に同動画の紹介と現地での啓発動員を案内した。	-	-	
200	チュニジア事務所	-	井上きみどり氏の手洗い啓発ポスターを印刷・ラミネート加工し、現在活動する全7名に配布し、各々のボランティアの配属先に掲示・啓発をした。 https://www.jica.go.jp/activities/issues/water/handwashing/ku57pq00002n8u42-att/French.pdf	ラミネート加工したポスター15枚	定量的な人数の確認は難しいが、学校やスポーツ・文化施設を含む計7配属先への掲示となるため、20～30×7=140～210人は現実的に見込むことができる。	係るポスターが好評であれば、引き続き隊員に掲示・啓発動員を行う予定。	-	-	
201	スーダン事務所	-	井上きみどり氏のマンガを配信。 ・ Facebook英語 https://www.facebook.com/1139699476112597/posts/3681888795226973/ ・ Facebookアラビア語 https://www.facebook.com/1139699476112597/posts/3681891508560035/	-	-	井上きみどり氏の漫画を使ったポスター制作	-	-	10,063
202	スーダン事務所	SHEPプロジェクト PROMISE プロジェクト	井上きみどり氏の漫画を使ったポスター制作、関係者等へ配布	1000部	FB「いいね」93、シェア1013	-	-	-	
203	エチオピア事務所	-	エチオピアの子どもたちに向けたコロナウイルス予防ポスターの制作 ■目的と内容 COVID19感染拡大の影響で学校・幼稚園が閉鎖になり、子供が家庭で過ごす時間が増えたため、手洗いを含むCOVID19感染防止の意識を高め、親子の触れ合いを感じながら楽しく学び、安全に生活してもらえよう、以下の内容をアムハラ語のポスターにして家庭に配布。また、ポスターを通じてJOCV隊員の活動を保護者や教育機関関係者をはじめとした多くの人に知ってもらおう。 ・手洗い、マスク着用、換気など6つの感染予防法をイラストで表示 ・自宅にある布を使って簡単に出来るマスクの作り方を紹介 ・家で楽しめる紙遊びを紹介（アムハラ語の手遊びなど隊員が作った動画のURLも掲載） ■配布数量 第一回配布：隊員配属先の幼稚園向けに2,020枚 第二回配布：隊員配属先の近隣小学校・幼稚園向けに4,303枚 第三回配布：Kirkos Sub-city（事務所所在地）内の幼稚園・小学校向けに14,713枚 合計：21,036枚	・第一回配布：隊員配属先の幼稚園向けに2,020枚 ・第二回配布：隊員配属先の近隣小学校・幼稚園向けに4,303枚 ・第三回配布：Kirkos Sub-city（事務所所在地）内の幼稚園・小学校向けに14,713枚 合計：21,036枚	-	学校・幼稚園再開には、マスク着用や手洗い（消毒）励行が条件づけられているため、教育及び水・衛生セクターと連携し、エチオピア製のマスクやエチオピア水技術機構（EWTI；管理能力強化化プロ実施中）製の手指消毒液をアディスアベバ市内の5つのSub-Cityに配布する予定。	-	-	21,036
204	エチオピア事務所	-	井上きみどりさんの手洗いポスターをアムハラ語に翻訳し、エチオピア事務所FacebookとTwitterに掲載。 (参考リンク) Facebook: https://www.facebook.com/jicaethiopia/photos/a.597536146937504/3803108926380194/ JICA Ethiopia on Twitter: "እንደዚህ አካላት እንታጠብ! #እንቆይ" https://t.co/TdXDvKvEAU / Twitter	-	-	-	-	-	3,622
205	エチオピア事務所	理数科教育アドバイザー	アディスアベバ市内の5つのサブシティ教育事務所を通じ、小学校・幼稚園の児童向けにマスクを贈与した。 過去にJOCVを派遣していた小学校・幼稚園が配布対象となっており、うち一部の小学校・幼稚園にはJOCV隊員が作成したコロナ予防啓発ポスターが既に配布されている。 JICAエチオピア事務所トピックス 和 https://www.jica.go.jp/ethiopia/office/information/event/20210305.html 英 https://www.jica.go.jp/ethiopia/english/office/topics/210308.html Twitter: https://t.co/GVSPAC6CT/ / Twitter	マスク：75,000枚（各サブシティに15,000枚ずつ） *各サブシティ教育事務所によって配布校の選定、生徒1人あたりの配布数が決定されている。	小学校：39校 幼稚園：35校 生徒数：46877名	サブシティの教育事務所から謝辞が寄せられた。	-	-	46,877

各拠点の「健康と命のための手洗い運動」活動事例（2022年3月調査時点）

No.	部署 (チーム名まで)	関連プロジェクト名	取組内容	配布物の数 (ハンドサニタイザー個数、マスク 枚数、ポスター枚数など)	啓発人数(人) (イベント参加者数、視聴者数、 いいね！の数など)	備考、今後の予定等 (あれば)	企業連携	企業名	リーチ数(人) (重複有)
206	エチオピア事務所	FAST TRACK RESPONSE TO PANDEMIC DISEASE COVID-19	ソマリ州において、コロナ対策支援として、以下の活動を実施している。現地NGOのHuman Concern Organization (HCO) を通じ、3都市（ゴダ、ジジガ、ケブリベヤ）を対象。 ①マスク等PPEの配布 ②公共施設（集会所等）への手洗い設備設置 ③感染防止啓発冊子、ポスター、のぼりの配付、運搬車の広告 ④警察所やバス停等人が集まる場所での研修 JICAエチオピア事務所トビックス 和 https://www.jica.go.jp/ethiopia/office/information/event/20210222_02.html 英 https://www.jica.go.jp/ethiopia/english/office/topics/210224.html Twitter: https://t.co/Ov5OsMD5CA / Twitter	①石鹸：1600 pieces 洗濯可能マスク：2,000枚 手袋：800箱 ②手洗い設備：20台 500L水槽：20台 ③啓発冊子（22ページ）：400冊 啓発ポスター：200枚 のぼり：20枚	PPE：400世帯 公共施設：20ヶ所 研修：200人	-	-	-	2,200
207	エチオピア事務所	農業アドバイザー	農業省を通じアムハラ州及びオロミア州の既存農業案件のプロジェクトサイト8群を対象。 ①農業関係者への衛生向上トレーニングの実施 ②衛生啓発機材の輸送・配布・設置 ③衛生啓発活動及び研修の実施	マスク：9,000枚 手指消毒液：2,800L 液体ハンドソープ：2,600L 固形石鹸：2,000個	直接受益者3,000人（農家1,000人、政府CP職員1,000人、コミュニティ1,000人） 間接受益者12,000人（コミュニティ）	衛星啓発機材の輸送・配布・設置は完了し、トレーニングおよび研修は実施中	-	-	15,000
208	エチオピア事務所	エチオピア水技術機構（EWTI）研修運営管理能力強化プロジェクト	EWTIが非接触式手洗い装置を製作し、アディスアベバ市内の行政事務所、医療センター、警察署等に設置・寄贈。 JICAエチオピア事務所トビックス 和 https://www.jica.go.jp/ethiopia/office/information/event/20210622.html 英 https://www.jica.go.jp/ethiopia/english/office/topics/210623.html Twitter: https://t.co/2ACmUyBdD1 / Twitter	手洗い装置：10台 ・行政事務所向け：3台 ・警察署向け：4台 ・医療センター向け：1台 ・学校向け：2台	推定利用者数：計約6600人/日 ・行政事務所：約500人/日/台×3台=約1500人/日 ・警察署向け：約800人/日/台×4台=約3200人/日 ・医療センター：約400人/日/台×1台=約400人/日 ・学校（2校）：約1500人/日 参考：各施設の単位利用数は、聞き取りに基づく概略推定値。	-	-	-	
209	エチオピア事務所	アディスアベバ市廃棄物管理関連施設関係者に対するコロナ対策緊急支援	アディスアベバ市廃棄物管理庁の職員400名と廃棄物管理に係わるサブシティ事務所の職員200名に対し、新型コロナ感染リスクを低減するため、使い捨てマスクや液体石鹸等の衛生用品を供与すると共に、WHOのガイドラインに基づく感染防止方法の研修を実施。 JICAエチオピア事務所トビックス 和 https://www.jica.go.jp/ethiopia/office/information/event/20210614.html 英 https://www.jica.go.jp/ethiopia/english/office/topics/210615.html Twitter: https://t.co/A9cvok3wce / Twitter	使い捨てマスク：4000枚 液体石鹸：600L 手指消毒液：1000L 非接触式体温計：15台 研修（1日）：600人	研修者数：600人	アディスアベバ市廃棄物管理庁から、感謝状と盾が授与された。	-	-	-
210	ガーナ事務所	母子手帳を通じた母子継続ケア改善プロジェクト	①研修参加者に対して、部屋に入る前の手洗い指導 ②保健医療施設での実習、モニタリング&スーパービジョンの際に、お母さん達への手洗い指導用の石鹸配布 ③母子手帳内でのイラストによる母親、養育者向け手洗い指導	母子手帳（年間100万冊）	①20~30人/回 ③10~20人/回 ④母子手帳配布数（年間100万冊=100万人）	-	-	-	1,000,000
211	ガーナ事務所	JICAガーナカレンダー	事務所作成の壁掛けカレンダーに「正しい手洗い漫画」のポスターを1枚差し込み、カウンターパート機関（兼轄国リベリア含む）等へ配布を行った。	カレンダー 590部	-	-	-	-	590
212	ガーナ事務所	ガーナ医療施設、及びコミュニティにおける感染予防支援	①医療従事者に対して、感染予防研修の一環で手洗いを啓発 ②地域保健ボランティアに対して、感染予防研修の一環で手洗いを啓発（2回実施） ③地域住民や学校関係者等に対して、感染予防研修の一環で手洗いを啓発（2回実施） ④地域住民/グループに対して、ペロニカバケツ（簡易手洗い装置）や手洗い用の液体石鹸、サニタイザーの製作方法に係るワークショップを実施。（2回実施）	-	①38人/回 ②33人/回 ③30人/回 ④25人/回	-	-	-	214
213	ガーナ事務所	北部3州におけるライフコースアプローチに基づく地域保健医療サービス強化プロジェクト	①プロジェクトで行う会議や研修の参加者に対し、マスクやサニタイザー等を配布し、手洗いの啓発を2616人に対して行った。 ②国のポスターやリーフレットのプロジェクトによる印刷配布を行った。	国のポスターやリーフレット 12,600枚配布予定。 →実績としては、手洗いポスターやマスク着用やソーシャルディスタンス等の啓発ポスターを含め、計7915枚（手洗いポスターは415枚のみ）	2616人	-	-	-	10,531
214	ガーナ事務所	ガーナ国境衛生管理能力強化プロジェクト	陸路国境サイトに手洗いバケツ、石鹸、消毒ジェル等を供与し、入国管理局員に対して手洗い啓蒙研修を行う予定。	-	-	-	-	-	-

各拠点の「健康と命のための手洗い運動」活動事例（2022年3月調査時点）

No.	部署 (チーム名まで)	関連プロジェクト名	取組内容	配布物の数 (ハンドサニタイザー個数、マスク 枚数、ポスター部数など)	啓発人数(人) (イベント参加者数、視聴者数、 いいね！の数など)	備考、今後の予定等 (あれば)	企業連携	企業名	リーチ数(人) (重複有)
215	ガーナ事務所リベリア フィールドオフィス	モンセラード州保健サービス改 善・監理支援能力強化事業	①モンセラード州の保健施設に手洗い啓発のポスター配布（モンセラード州22か所の保健センター、 病院にてポスターを掲示） ②保健施設の医療スタッフへ手洗い資材を供給することにより手洗い実施支援 ③保健施設に来る患者に対して手洗い啓発活動や指導を実施	①ポスター120枚 ②③液体せっけん1200個、ハンドサ ニタイザー600個、消毒用漂白剤800 本、手洗い用バケツセット30セット	①22か所の病院・保健センター ②1,230人 ③約1,000人/日	現在モンセラード州22か所の保健センターに②③を配 布中。	-	-	
216	ナイジェリア事務所	-	事務所内に英語版リーフレットを共有、NSも含めて手洗い運動キャンペーンを周知。当地における各 種ワークショップ等には、当事務所にてハンドサニタイザー、マスクを調達し、持参。	-	15人	-	-	-	15
217	ナイジェリア事務所	CLTS (Community Led Total Sanitation) ワークショップ	FCT RUWASSA (Federal Capital Territory Rural Water Supply and Sanitation Agency) と連携し、 ODF (Open Defecation Free : 屋外排泄根絶) に向けたCLTS ワークショップを開催。講義、実習を 組み合わせたワークショップを約1週間開催した後、3か月の定期モニタリングを実施。研修後、参 加者のコミュニティ (Bwari Area Council) における 屋外排泄根絶を確認。同ワークショップの中 ではPrimary School における手洗い啓発活動も実施。	0	約30人	CLTS ワークショップの対象となった Bwari Area Council は以下の VLOM ワークショップの対象でもあ るため、RUWASSA と共に事後モニタリングとして訪 問することを検討中。	-	-	30
218	ナイジェリア事務所	VLOM (Village Level Operation And Maintenance) ワーク ショップ	FCT RUWASSA と連携し、地方コミュニティにおける衛生環境改善に向けたハンドポンプ式井戸の改 修にかかるワークショップを実施。FCT 内全6つのArea Council からそれぞれ6名の技術者を招き、 講義、実習を組み合わせたワークショップを5日間開催。研修最終日には井戸のメンテナンス用ツール ボックスも供与したところ、参加者による持続的な井戸改修実施が期待される。 事務所HP : https://www.jica.go.jp/nigeria/english/office/topics/210305.html 事務所Twitter : https://twitter.com/JicaNigeria/status/1368826246231121920	手洗い石鹸 8個 × 36人 = 288個 手洗い用バケツ : 36個 ツールボックス : 6個 (1個/各Area Council)	技術者 : 36人 RUWASSA職員 : 10人	全6のArea Council (Abuja Municipal Area Council, Abaji, Bwari, Gwagwalada, Kuje, and Kwali) の内 Bwari は上記 CLTS ワークショップの対象でもあ ることから、RUWASSA と共に事後モニタリングとして訪 問することを検討中。	-	-	46
219	ウガンダ事務所	?	ウガンダ水・環境省の世界手洗いの日イベント開催支援	-	-	水2大塚さまより情報提供	-	-	
220	タンザニア事務所	-	【広報】 ●井上きみどり氏の手洗い漫画のswヒリ語訳版を作成済。 ●同手洗い漫画swヒリ語版について、各所への配布用にA4サイズ13,500部、A3サイズにて3,050 部、A2サイズラミネートにて20部印刷。正しい手洗いの方法を示した写真と漫画を組み合わせたバ ナーを約500部印刷。漫画は事務所ロビーに来訪者向け配布資料としても設置するとともに、バナー も1部ロビーに掲示。 ●2021年2月に開設したタンザニア事務所のFacebookアカウントにて、手洗い漫画を掲載すると共に 正しい手洗いの方法やタイミング等に係る啓発の投稿を実施（英語とswヒリ語）。その他、協力隊 の配属先に手洗い漫画を配布した例なども発信。 ●手洗い漫画swヒリ語版を現地新聞4紙に掲載。4紙合計の発行部数は約15万部、新聞社によれば、 大体1部あたり平均して10人くらいが読むだろうとのこと。	●手洗い漫画の印刷部数について、 左記のとおり。	(手洗い漫画の新聞掲載) 150万 人程 (事務所フェイスブックフォロ ワー) 950人	手洗い漫画の新聞掲載では内1社のみで当日中に600件 以上の問い合わせがあり、農村部も含めて全国の読者 からの厚意的なコメントや反響が多数あったこと 。	-	-	5,229
221	タンザニア事務所	-	【事務所運営】 ●手洗い運動リーフレット (NS用) を所内展開・周知済。手洗いソング等、リーフレット中の各家庭 で子育向けに使えるツール等も紹介。 ●総務班 (健康管理員含む) ・事業班横断の手洗い運動TFを発足 (NS3名、日本人4名の7名体制)。 ●所内の手洗いスローガン (swヒリ語) をTFのNSが作成、所内周知。 ●NSを対象とし、①個々人のコロナ対策概論、②医療施設におけるIPCとしての手洗い、③手洗い運 動の概要と正しい手洗いの方法及びタイミングに係る所内セミナーを実施 (英語及びswヒリ語。 swヒリ語の回はドライバーも対象にし、車内消毒の指導も実施) ●所内セミナー開催時に手洗い漫画swヒリ語版を配布。家庭内、コミュニティ内、子供の通う学校 等での配布も総務 (計100部程度配布)。	●手洗い漫画の印刷部数について、 左記のとおり。	●所内セミナーの参加者は約30 名。	-	-	-	30
222	タンザニア事務所	①無電化農村地域におけるマイ クログリッド導入に向けた発電 用バイオ燃料油の革新的抽出技 術の開発と普及 ②ダルエスサラーム市交通機能 向上計画 (第一次、二次) ③地方自治強化のための参加型 計画策定とコミュニティ開発強 化プロジェクトフェーズ2 ④SHEPアプローチを活用した 県農業開発計画実施能力強化プ ロジェクト ⑤品質・生産性向上による製造 業企業強化プロジェクト フェーズ2	【事業関係】 手洗い運動リーフレット (外部用) を技術協力専門家、資金協力コントラクター及びコンサルタント、ボラン ティア等に配布すると共に、手洗い漫画等のツールも併せて配布し、各既往事業現場での手洗い啓発を実施す る (現場に戻っている事業を対象に順次実施)。 <実績例> ①エネルギーセクターのSATREPS案件で、C/Pとなるダルエスサラーム大学の手洗い場に漫画を掲載。 ②運輸セクターの無償案件で、施工現場に手洗い漫画を掲載。施工現場作業員への手洗い指導が行われた他、 現場付近を通学中の学生等が足を止めて手洗い漫画を見るなど、周辺コミュニティへの波及も小規模ながら認 められた。 ③地方行政セクターの技プロのICCにて、事務所長より代表してC/P省庁の政策計画局長に手洗い漫画50部を 贈呈。 ④農業セクターの技プロのJCC (遠隔) のタイミングに合わせ、プロジェクトC/P経由で代表してC/P省庁次官 に手洗い漫画100部を贈呈。 ⑤コロナ禍前までスポーツ隊員 (野球) が派遣されていた中学校にて、「世界の笑顔プログラム」の野球用具 寄贈式に合わせ、参加生徒に対してNSより手洗い指導を実施。その際に、手洗い漫画を配布した。 ⑥有償資金協力における債権管理関係のセミナー開催時に、財務計画省C/Pに手洗い漫画を贈呈。 ⑦JICA事務所主催のJICA研修修了生を対象としたイベントにて、参加者22名に対し手洗い運動リーフレット (外部用) を配布。 ⑧帰国研修員同窓会年次総会にて、手洗い漫画40部を配布とともに、手洗いの重要性を強調。 ⑨産業界省に対して専門家を通じて手洗い漫画を50部程度配布予定。 ⑩無償資金協力の途上国にC/Pを委託して計100部程度配布予定	●現在合計で手洗い漫画を約9,000部 配布済	-	ダルエスサラーム市内の小学校における啓発を検討し ているものの、手洗い漫画の配布は生徒数等を考慮す ると現実的でないため、各校に1枚ずつ配布することを 想定したバナー (約2m ²) を作成し、283校に配布予 定 (本件完了後は新規に項目建てて報告予定)。	-	-	1,000

各拠点の「健康と命のための手洗い運動」活動事例（2022年3月調査時点）

No.	部署 (チーム名まで)	関連プロジェクト名	取組内容	配布物の数 (ハンドサニタイザー個数、マスク 枚数、ポスター部数など)	啓発人数(人) (イベント参加者数、視聴者数、 いいね!の数など)	備考、今後の予定等 (あれば)	企業連携	企業名	リーチ数(人) (重複有)
223	タンザニア事務所	国際NGOとの連携による学校・保健施設の衛生行動改善に関する情報収集・確認調査	【事業関係】(予定) ●「国際NGOとの連携による学校・保健施設の衛生行動改善に関する情報収集・確認調査」において、ブワニ州キサラウェ県で小学校30校及び保健医療施設15カ所を対象に手洗い行動促進・定着に係るパイロット活動(ニーズに応じて簡易的な施設整備も含む)を実施予定。2021年9月にWater Aidとの契約を了したところ、今後順次活動を実施。	-	-	-	-	-	-
224	タンザニア事務所	キサラウェ県の小学校における手洗いを通じた子どもたちへの感染拡大防止に関する調査	【事業関係】 ●ブワニ州キサラウェ県小学校の手洗いを促す衛生行動改善を目的とした現地リソース型事業を実施中(2021年3月31日～2022年2月28日) ●キサラウェ県知事、地方自治体関係者にプロジェクト内容の理解を促すワークショップを開催した他、手洗い設備(ペダル式、複数個の蛇口有)を準備し、今後各ターゲットの小中学校での手洗いワークショップを開催予定。(9月、10月)	-ポスター 500枚	地方自治体関係者、近隣小学校児童、コミュニティ住民等50名。	今後、ターゲットの12の小中学校の生徒、教師、家族、その他コミュニティ住民へむけワークショップを開催予定。	-	-	-
225	タンザニア事務所	-	ダルエスサラーム市内の全政府系小学校にバナー(385部)、手洗い漫画(約5000部)を配布するとともに、一部小学校では手洗いデモンストレーションを実施。	バナー385部 手洗い漫画約5000部	約40万人(1枚につき1,000人強の生徒、教員が在籍していると想定)	プレスリリースとして各メディアに通知(その後紙面掲載もあり)、事務所FBでも紹介	-	-	-
226	ザンビア事務所	手洗いソングを通じたルサカ市内の脆弱地域の子どもたちへの感染拡大防止活動	ザンビア保健省(Ministry of Health, 以下MOH)傘下の国立公衆衛生院(Zambia National Public Health Institute, 以下ZNPHI)の監修のもと、特命随意契約を結んだ現地NGOの外部委託により、ルサカ市内の未計画居住区の子どものために、第一部で感染症対策のためのレクチャーを行う。第二部でピコ太郎の手洗いダンスソングPPAP2020をザンビアのコメディアンが披露し、未計画居住区の子どものたちが楽しく正しく手を洗う方法を学ぶ。ルサカ上下水道公社が感染症対策重点地域と指定した、二つのコンパウンド(チャザンガ、チャワマ)で10月15日から3月末まで合計80回の活動を行う。12月4日まで2地区で行った活動および供与した感染症対策関連資材は以下のとおり。 活動実施回数: 35回 延べ子ども参加人数: 6,000名 手洗いキット: 8個 マスク: 1,851個 石けん: 48ケース 顆粒塩素: 8袋 PPAP2020ポスター、井上きみどりさん作ポスター: 計2,000枚(1,000枚ずつ)をコンパウンドの活動を通じ配布。4,000枚(2,000枚ずつ)を新聞(Daily Mail)に挟んで、一般市民に配布。	手洗いキット: 8個 マスク: 1,851個 石けん: 48ケース 顆粒塩素: 8袋 PPAP2020ポスター、井上きみどりさん作ポスター: 計6,000枚(3,000枚ずつ)	延べ子ども参加人数: 6000名	2020年10月から2021年3月Community Empowerment Programのスキームでザンビアの未計画居住区の子どもの計6,000名に対して手洗い啓発活動を実施。ザンビアの有名コメディアンおよび全体統括としてローカルNGOに業務委託契約をして、PPAP2020の手洗いダンスソングとともに、子どもたちに楽しく正しく手を洗ってもらう活動を行った。活動の内容を記録した15分のドキュメンタリー番組、1分間の番宣は2020年2,3月にかけてザンビア全国放送局で放映した。2021年9月にはJICA広報部のYou Tubeでも15分ドキュメンタリー番組及び1分間番宣動画を配信、TwitterやFacebookでも英語、日本語ともに内容を投稿し、ピコ太郎公式twitterでもリツイートしてもらった。また日テレのnews everyで2021年10月4日に1分間活動についてオンエアした。 本活動を連携したザンビアNGO「ブワファノ統合サービス会(BISO)」には、2022年度に2名のJICAボランティア(いずれも職種は「公衆衛生」)の派遣を予定している。	-	-	今回追加事項 YouTube15分動画ビューアー数(10/4時点) 英語: 50 日本語: 204 YouTube1分番宣動画ビューアー数(10/4時点) 英語: 476 日本語: 934 広報部Twitterリーチ数(9/30時点) 英語: 18,328 日本語: 11,787 広報部FBリーチ数(9/30時点) 英語: 10,487
227	ザンビア事務所	「都市コミュニティ小児保健システム強化プロジェクト」フォローアップ協力	2011年から2014にかけて実施した技術協力プロジェクトのフォローアップ協力の一環として、 ・手指消毒剤400個 ・石鹸400個 ・手洗いキット50個 を供与。 PPAP2020ポスター、井上きみどりさん作ポスター: 計4,000枚(2,000枚ずつ) 供与先は、下記4つの州保健局。 ・ルサカ州保健局 ・ンドラ州保健局 ・カブウェ州保健局 ・ソルウェジ州保健局 対象者は、4つの州保健局が管轄するエリアの住民 ※各州保健局から末端への配分等は各州保健局の配分に一任。	・手指消毒剤400個 ・石鹸400個 ・手洗いキット50個 PPAP2020ポスター、井上きみどりさん作ポスター: 計4,000枚(2,000枚ずつ)	啓発人数(実績値)は不明 ※ 州レベル保健局4か所に供与。その先、各州保健局から末端への配分等は各州保健局の配分に一任。 呼びかけた人数(最大値)はR列のとおり。	特になし	-	-	4,000
228	マダガスカル事務所	手洗い啓発漫画ポスターを用いた手洗い啓発の広報活動	井上きみどりさんの啓発漫画ポスターをマダガスカル語に翻訳し、水衛生省、保健省、教育省の協賛のもと大手新聞への掲載を行った。2020年12月16日付「MIDI Madagasikara」の見聞き(A2サイズ)に掲載。全国の全小学校26000万校にポスターを配布、小学校に通う児童を主な対象として、子どもを通じて各家庭にも手洗い習慣が広まることが期待される。教育省への贈呈式の様子は新聞やテレビでも取り上げられた。また大学病院や水商などにも配布済み。	井上きみどりさんの啓発漫画ポスター: 約2.6万枚	26,000校の小学校児童(約440万人)	-	-	-	26,970,000
229	マダガスカル事務所	5-S-KAIZEN活動、生活改善を通じた手洗い、衛生啓発活動の促進	在外事業強化費事業で実施中の病院5-Sカイゼン、農村地域での生活改善活動を通じて手洗い運動と衛生啓発に係る活動を促進中。具体的には、病院ではポストコロナで院内感染を予防するために医療従事者の手洗い、マスク着用等を義務付け、また生活改善でも改良かまどや農作業等の節目に手洗いを促すなどの衛生活動を実施した。	-	600人(直接活動に参加した人数)	-	-	-	26,970,000
230	マダガスカル事務所	アロチャ湖南西地域灌漑施設改修計画	無償サイトに近い基礎保健センター及び農業関係者にコロナ対策についての啓発を実施した	ハンドサニタイザー50本、マスク1100枚、手袋 500枚、防護服 100着、ゴーグル30個、体温計6個	48人	-	-	-	-

各拠点の「健康と命のための手洗い運動」活動事例（2022年3月調査時点）

No.	部署 (チーム名まで)	関連プロジェクト名	取組内容	配布物の数 (ハンドサニタイザー個数、マスク 枚数、ポスター部数など)	啓発人数(人) (イベント参加者数、視聴者数、 いいね！の数など)	備考、今後の予定等 (あれば)	企業連携	企業名	リーチ数(人) (重複有)
231	マダガスカル事務所	国際手洗いデーにおける手洗い啓発プロジェクト	国際手洗いデー（10月15日）に併せて、以下の活動を行い手洗い啓発を行う ①手洗いをテーマとしたJICAマダガスカル事務所にて作成した啓発ビデオのテレビ放映 ②井上喜緑さんの手洗い啓発漫画ポスターの配布	②漫画ポスターの配布 6,000枚	①500万人（テレビ視聴者） ②6000世帯	啓発テレビの放送については、一般大衆を対象としており、有名な歌手が歌った当該ビデオが特に子供にはキャッチーなものであるようで、口にする子供を垣間見る事ができるなど、一定の浸透が図られたものと思料。2022年度においても、国際手洗いデーに同じような啓発活動を実施予定。	-	-	
232	モザンビーク事務所	マプト大都市圏における持続可能な廃棄物管理能力強化プロジェクト	・プロジェクトカウンターパート機関である、マプト市環境・衛生局職員（183人）廃棄物収集員（934人）、ウェストピッカー（800人）への防護具配布（マスク、手袋、ハンドサニタイザー、ハンドソープ等）。 ・上述対象者へコロナ予防対策に関する教材作成及び同資料を活用した40分程の講座を実施。 ・供与物品：マスク（2,150枚）、手袋（1,750枚）、フェースフィールド（1,950個）、ハンドサニタイザー（1,200個）、ハンドソープ（1,450個）、体温計（61個）、機材サニタイザー（47個）、コロナ対策教材（1,989部）、コロナ対策A3ポスター（100枚）、コロナ対策パンナー（2個） ・廃棄物収集業者の現状確認、コロナ禍における廃棄物管理について指導 ・医療施設における廃棄物管理の情報収集、コロナ禍における廃棄物管理について指導 ・地域コミュニティに向けた感染予防に関する啓発活動、 ・地域コミュニティに向けてマスクや手袋の捨て方の指導	マスク（2,150枚）、手袋（1,750枚）、フェースフィールド（1,950個）、ハンドサニタイザー（1,200個）、ハンドソープ（1,450個）、体温計（61個）、機材サニタイザー（47個）、コロナ対策教材（1,989部）、コロナ対策A3ポスター（100枚）、コロナ対策パンナー（2個）	1,917	https://www.facebook.com/906502186129578/posts/343587056526049/	-	-	1,917
233	モザンビーク事務所	ニアッサ州持続的給水・衛生改善プロジェクト（PROSUAS）	・ニアッサ州においてPROSUASが対象とした郡（マンディンバ郡、ガウマ郡、マジュネ郡、ムエンベ郡、マヴァゴ郡）においてラジオを通じたコロナ対策啓発活動を実施 ・コロナ対策（手洗い、ソーシャルディスタンス等）を含めた1分30秒のメッセージを現地語4種類、30日間、1日に5回放送する予定。 ・実施予定2020年12月～2021年1月	-	各郡に人口＝ マンディンバ郡（133,648人）、ガウマ郡（64,049人）、マジュネ郡（29,702人）、ムエンベ郡（28,645人）、マヴァゴ郡（29,343人）	https://www.facebook.com/watch/?v=698973077397186	-	-	276,285
234	モザンビーク事務所	広報・啓発	・事務所内の水道設置場所に井上きみどりさんの「正しい手洗い漫画」（英語）を掲示し、プラットフォームウェブサイト印刷物を訪問者が閲覧できるよう設置。 ・ロゴ入りマスクの作成中。	-	45	-	-	-	-
235	モザンビーク事務所	-	①マプト市内で隊員受入予定のある学校、障害者施設10校を対象に、「正しい手洗い漫画」のポスター（ポルトガル語版）を配布した。 ②同10校に、新型コロナウイルス感染症対策、手洗い促進のための物品を配布し、生徒を対象に啓発活動を行った。 ③上記活動を事務所FBに掲載し、活動の広報を行った。 https://www.facebook.com/jica.mozambique/posts/4147867388659692 https://www.facebook.com/jica.mozambique/posts/4319962294783533	①ポスター50枚 ②マスク3000枚、漂白剤340L、スプレー容器50個、消毒薬220L、体温計20個、せっけん200個、ゴム手袋30セット	②500人 ③1,000人	同活動が「健康と命のための手洗い運動ニュースレター」16号（日・英）で紹介された。 https://www.jica.go.jp/.../ku57pq.../handwashing_news_16.pdf https://www.jica.go.jp/.../c8h0vm0000fd.../newsletter_16.pdf	-	-	
236	モザンビーク事務所	ニアッサ州持続的給水・衛生改善プロジェクト（PROSUAS）	①2021年10月15日に実施された世界手洗いの日のイベントに、プロジェクトチームが参加し、水栓付きバケツ（3つ）、マスク（50枚）、手指消毒用アルコール（6本）、JICA手洗い漫画パンフレット（150枚）を配布した。 ②2021年11月19日に実施された世界トイレの日のイベントに、プロジェクトチームが参加し、固形石鹸（1個）、マスク（50枚）、手指消毒用アルコール（6本）、JICA手洗い漫画パンフレット（100枚）を配布した。	①水栓付きバケツ3つ、マスク50枚、手指消毒用アルコール6本、JICA手洗い漫画パンフレット150枚 ②固形石鹸1つ、マスク50枚、手指消毒用アルコール6本、JICA手洗い漫画パンフレット100枚	①約300人のイベント参加者 ②200人以上のイベント参加者	-	-	-	
237	モザンビーク事務所	-	首都マプトの医療従事者学校に派遣されている隊員が、首都近郊のコミュニティ学校において、医療従事者の経験を活かし、マスク着用の重要性・効果についての説明、正しい手洗いの方法、手洗いによる感染症・食中毒の予防に関する講義を、生徒及び教員に対して実施。一クラス20名程度×10回実施。	-	教員：3名 生徒：20名	今後3月-5月にかけて引き続き実施を計画しており、ポルトガル語に翻訳した「正しい手洗い漫画」も活用していく予定である。	-	-	
238	コンゴ民主共和国事務所	-	アフリカのコロナ対策、コンゴ民、ガーナがフジテレビ「とくダネ！」に取り上げられた。手洗い関連では、コンゴ民の「国立職業訓練機能力強化プロジェクト」で開発された自動手洗い器の動画が紹介された。 【内容】とくダネ！【東京”時短要請”閉店夜10時に街は▽「世界×コロナ」知られざる危機】 フジテレビ 2020/11/26 9:11 2020/11/26 9:21 10分38秒	-	-	「国立職業訓練機能力強化プロジェクト」で制作された機器	-	-	
239	コンゴ民主共和国事務所	-	新型コロナウイルス感染症対策の一環として、国家Covid-19対策マルチセクター委員会感染予防分科会と連携し、現地スタートアップ会社の製造した非接触型自動手洗い装置（利用人数カウンター付き）をキンヤサ特別州の人の往来が多い公共施設8か所に12台設置した。	自動手洗い器12台	-	自動手洗い器の設置後、事務所Twitter,Facebookにて広報を行った。 JICA手洗いニュースレターにも事例として掲載された。	-	-	
240	南スーダン事務所	事務所内の活動	・事務所内の水道、玄関などに手洗いに関する掲示物を出し、手洗いを啓発。 ・外から事務所敷地内に入る際（セキュリティ前）、事務所建物に入る前（玄関前）に手洗い用の水タンク、石鹸を設置し、入館者に手洗いを推奨。 ・井上きみどりさんの手洗いポスターを事務所Facebookで紹介。 ・井上きみどりさんの手洗いポスターを当地英字新聞（2紙）に掲載し、市民への手洗い啓発とした。	-	-	-	-	-	5,555

各拠点の「健康と命のための手洗い運動」活動事例（2022年3月調査時点）

No.	部署 (チーム名まで)	関連プロジェクト名	取組内容	配布物の数 (ハンドサニタイザー個数、マスク 枚数、ポスター部数など)	啓発人数(人) (イベント参加者数、視聴者数、 いいね！の数など)	備考、今後の予定等 (あれば)	企業連携	企業名	リーチ数(人) (重複有)
241	南スーダン事務所	ジュバきれいな街プロジェクト	・ジュバ市役所環境衛生局の清掃作業員254名を対象に、JICAロゴ付きマスク800枚、石鹸144個、水タンク5個、消毒液50本、作業用手袋456個、長靴228足、赤外線体温計5個、コロナ対策用ポスター10枚&バナ-5枚を供与。 ・引き渡し式（11月19日実施）には、相良南スーダン事務所長の他に、当地大使館書記官、環境林業省次官、ジュバ市役所臨時CEOが参加し、その様子は現地公共放送等で取り上げられた。 ・12月上旬に清掃作業員に配布。配布に際しては、清掃作業員に対し手洗いを含むコロナ対策の啓蒙&研修を実施。この様子も地元メディアで取り上げられた。 ・引き渡し式および配布・研修については、事務所Facebookでも紹介。	JICAロゴ付きマスク800枚、石鹸144個、水タンク5個、消毒液50本、作業用手袋456個、長靴228足、赤外線体温計5個、コロナ対策用ポスター10枚&バナ-5枚	-	-	-	-	800
242	南スーダン事務所	理数科教育強化	・一般教育省の職員および現地小学校7校および教員養成校3校を対象に、JICAロゴ付き布マスク、水タンク、石鹸、消毒液、清掃用品を供与。 ・引き渡し式（12月8日実施）には、相良南スーダン事務所長、一般教育省次官が参加し、その様子は現地公共放送等で取り上げられた。 ・引き渡し式については、事務所Facebookでも紹介。	-	-	小学校および教員養成校の配布時には手洗いおよびマスク着用を推奨する啓蒙資料配布予定。	-	-	-
243	南スーダン事務所	税関コード導入による税関能力強化プロジェクト（フェーズ2）	・ジュバ市内税関オフィス及びジュバ空港税関に、布マスク1000枚、水タンク10個、石鹸125個、消毒液50個、検品用手袋50セットを供与。 ・引き渡しの様子を事務所Facebookでも紹介。	布マスク1000枚、水タンク10個、石鹸125個、消毒液50個、検品用手袋50セット	-	他の税関オフィスよりニーズがあれば追加供与を検討する。	-	-	9,267
244	モルディブ支所	-	①井上きみどりさんの手洗い漫画の英語版を、支所FBに掲載した。 ②井上きみどりさんの手洗い漫画を現地語のディベヒ語に翻訳し支所Facebookに掲載した。(2021年3月30日) ③教育省を通してモルディブ全校にPDFを配布予定	-	「いいね！」1,000個	-	-	-	1,540
245	モルディブ支所	-	服部隊員の配属先であるマラドゥスクールから要望があり、洗えるマスク900枚、サニタイザー150本を供与。 ・隊員は4種類の資料を作成し、ラミネート加工と校内の目立つ場所への掲示を依頼。内1種類が手洗いに関する資料 ・11月5日に教育省に関係者が集まり引渡式典が開催され、河崎支所長が出席。同日支所のfacebookにてその様子を紹介。 ・11月6日モルディブのTV番組PSMで英語、そして現地語で現地報道された。 ・11月22日に配属先に物品到着。 ・12月3日、支所のFacebookにて配属先に物品が無事に届いた様子を紹介。	-	-	-	-	-	1,500
246	モルディブ支所	-	①コロナ対策の啓発活動を目的として、JICA 帰国研修員同窓会（JICA-Alumni Society of Maldives）と教育省とのジョイント・プロジェクト—Cheering up Children of Maldives in COVID-19 Pandemic を実施。絵画部門には全国から427 作品の応募があり、結果を支所Facebookに掲載した。(2021年4月1日) ②4/8に授賞式を教育省で実施され、河崎支所長が出席。同日支所のfacebookにてその様子を紹介。 ③4月から5月にかけて、3回にわたり絵画部門に入賞した作品を支所Facebookに掲載した。 ④今後関連の広報グッズも作成予定。	-	トータルリーチ数：11,286（授賞式、絵画部門関連）	教育省サイトにも記事が掲載された。PSMとDhivehiの2つの現地報道機関から取材あり	-	-	1,047
247	バヌアツ支所	-	①ヒスラマ語に翻訳してJICAHP「翻訳済の言語版」掲載されている。また支所内関係者に配布済み。 ②隊員の再派遣後に活動の一環として普及活動に活用する予定	① 10枚	①10人	保健省に共有し活用方法について検討中。	-	-	-
248	バヌアツ支所	-	①翻訳済のコミック「正しい手洗い漫画」をラミネートし、協力隊員派遣予定の配属先（小学校と協会）に配布済み。 ②隊員の再派遣後に活動の一環として普及活動に活用する予定。	① 10枚	①10人	保健省に共有済みで活用方法について協議中。	-	-	-
249	バラオ事務所	-	2020/10/14 事務所FBにて、Global Handwashing Day関連記事をシェア掲載。 ①井上きみどりさんの正しい手洗い漫画 ②WHO ③GLOBALHANDWASHING.ORG	-	①1088人reached ②166人reached ③201人reached	-	-	-	1,206
250	バラオ事務所	JICA India "Achhi Aadat Campaign"	2021/9/2 事務所FBにて、Hello Kitty handwashing songをシェア掲載。	-	208人reached	-	-	-	1,206

各拠点の「健康と命のための手洗い運動」活動事例（2022年3月調査時点）

No.	部署 (チーム名まで)	関連プロジェクト名	取組内容	配布物の数 (ハンドサニタイザー個数、マスク 枚数、ポスター部数など)	啓発人数(人) (イベント参加者数、視聴者数、 いいね！の数など)	備考、今後の予定等 (あれば)	企業連携	企業名	リーチ数(人) (重複有)
251	コスタリカ支所	-	帰国研修生らに対しJICAの手洗い運動について紹介したところ、教育省に勤務する帰国研修生の働きかけにより、11月20日に同省が制作する教育テレビ番組で井上きみどりさんの漫画に基づいてポリビア事務所が作成した動画が手話通訳付きで全国放送された。 同日、コスタリカ支所のFacebookでも動画を紹介した。 https://www.facebook.com/128101543988096/posts/2028880093910222/?d=n	-	Facebook投稿へのいいね5、シェア3	-	-	-	4,998,979
252	コスタリカ支所	-	井上きみどりさんの正しい手洗い漫画（西語版）と同漫画に基づく動画（ポリビア事務所作成）へのQRコードを含むポスターを作成。（500部） 大学及び公共施設のトイレ・洗面所に配布。	ポスター500部	50000人見込み	-	-	-	50,000
253	コスタリカ支所	-	①「正しい手洗い漫画」のポスターを教育省の帰国研修性を通じて公立学校へ無償提供した（200部） ②「正しい手洗い漫画」のポスターを首都近郊の2市役所を通じて地域防災委員会へ無償提供した（50部）	①ポスター200部 ②ポスター50部	①20000人 ②1000人	-	-	-	
254	コロンビア支所	-	コロンビア支所よりお届する「新型コロナウイルスと戦う全ての人々への応援メッセージ」と題し、第1～5弾まで動画を作成し、支所facebook (https://www.facebook.com/jicacolombia/) に啓発メッセージ（手洗い、ソーシャルディスタンス等）を添えて投稿した。 尚、第1～4段までコロンビア支所YouTubeチャンネル (https://www.youtube.com/c/JICACOLOMBIA) から総集編を視聴可能（第5弾は、他事務所により動画作成）。 ・コロンビア支所Facebook投稿した日 ① 2020年4月22日、支所スタッフ参加 ② 2020年4月29日、支所スタッフ参加 ③ 2020年5月7日、支所スタッフ参加 ④ 2020年5月20日、プロジェクトC/P、元専門家、ボランティア、（日系）帰国研修員参加 ⑤ 2020年6月3日、JICA中南米・カリブ地域の在外事務所のナショナルスタッフ参加	マスク（3,000枚）、抗菌ジェル（3,000個）、ゴム手袋（3,000対）、フェイスシールド（3,000個）、アルコール消毒スプレー（3,000個）	①いいね（775）、リーチ（32,408） ②いいね（62）、リーチ（783） ③いいね（37）、再生（219）、リーチ（481） ④いいね（108）、再生（1,116）、リーチ（3,274） ⑤いいね（156）、リーチ（6,925）	現地からの反応（FBコメント）は、以下の通り。 ・コロンビアに対する支援に感謝。 ・JICAで働きたい。 ・コロンビア支所Facebookのフォロワー数（945） ・コロンビア支所YouTubeのチャンネル登録者数（232） No.174 Facebook × 4回投稿 + YouTube = 4,012	-	-	7,313
255	コロンビア支所	帰国研修員同窓会活動支援	2020年6月24日、ボゴタ危機管理局（DIGER）に所属する帰国研修員を通じて、マスク等の新型コロナウイルス対策支援を実施。DIGER長官より、JICAに対する感謝を述べたビデオメッセージをコロンビア支所Facebookに投稿。	マスク（6,000枚）、アルコールジェル（1,200本）	いいね（70）、リーチ（2,304）	現地からの反応（FBコメント）は、以下の通り。 ・コロンビアに寄り添い、支援してくれて有り難う。 ・賞賛と尊敬に値する。日本に感謝。 ・コロンビア支所Facebookのフォロワー数（945） ・コロンビア支所YouTubeのチャンネル登録者数（232） No.175 Facebook × 1回投稿 = 945	-	-	7,092
256	コロンビア支所	中南米地域生活改善アプローチ	2020年9月9日、2016年度課題別研修「中南米地域生活改善アプローチ」の帰国研修員で、現在はメデジン市長夫人として、又公職者として市民活動（平和構築、地域格差是正、ジェンダー平等推進・女性の地位向上、帰還難民支援など）を行っている同帰国研修員を通じて、バンドミックとなった同市の感染症に最も脆弱な地域住民に対する支援を行った。同支援を通じて、マスク着用の重要性や適切な手指の消毒など、適切な衛生習慣の普及・促進も図り、延いては、ウイルス感染拡大防止に貢献することで、地域住民の生命の安全と健康を守ることに寄与した。 ・コロンビア支所Facebook投稿した日とその内容。 ① 2020年8月31日、上條支所長他、マスク等の防護資材の検品の様子 ② 2020年9月2日、ボゴタからメデジン市への防護資材輸送の様子 ③ 2020年9月2日、メデジン市に防護資材が到着した時の様子（動画有） ④ 2020年9月9日、メデジン市長夫人より、JICAに対する感謝を述べたビデオメッセージ ⑤ 2020年9月22日、供与式（オンライン）の様子	マスク（3,000枚）、抗菌ジェル（3,000個）、ゴム手袋（3,000対）、フェイスシールド（3,000個）、アルコール消毒スプレー（3,000個）	①いいね（156）、リーチ（32,365） ②いいね（39）、リーチ（764） ③いいね（39）、再生（218）、リーチ（455） ④いいね（34）、再生（1,103）、リーチ（3,245） ⑤いいね（49）、リーチ（6,894）	現地からの反応（FBコメント）は、以下の通り。 ・防護資材の供与に日本政府とJICAに感謝。 ・賞賛と尊敬に値する。 ・神のご加護を。 ・日本の愛他主義に感謝。 ・現地のニーズに応じてくれて感謝。 ・日本は、とても組織化されている。ソーシャルディスタンスを保っていても、（心はいつも繋がって）いて存在ではない。 ・JICAコロンビアが好き。有り難う！ ・コロンビア支所Facebookのフォロワー数（945） ・コロンビア支所YouTubeのチャンネル登録者数（232） No.176 Facebook × 5回投稿 = 4,725	-	-	11,489
257	コロンビア支所	新型コロナウイルス感染症による障がい者の家庭への影響と効果的支援のための調査	2020年12月18日、ボリバル県カルタヘナ市の新型コロナウイルスによる危機的な環境変化によって影響を受けている障がいを持つ児童生徒を抱える家庭（300世帯）を対象にして、経済的、精神的、教育的な影響の実態の把握、問題解決のための方策を提案することを目的とした調査を開始。同調査活動を通じて、マスク等の防護資材も供与、調査対象者への感染予防セミナーが実施された。その様子は、本調査の委託先であり、医療福祉サービスを提供しているレイ財団によって作成された動画のリンクをコロンビア支所Facebookに掲載。	マスク（6,000枚）、アルコールジェル（1,200本）	いいね（70）、リーチ（2,304）	機材を受け取った裨益者の多くからJICAに対して謝辞が述べられ、その模様は今後動画として作成される予定。 ・コロンビア支所Facebookのフォロワー数（945） ・コロンビア支所YouTubeのチャンネル登録者数（232） No.177 Facebook + 1,500 = 2,445	-	-	6,800
258	コロンビア支所	-	2020年6月、コロンビア司涼隊員（2018年度4次隊）を始めとする環境教育の有志隊員が協力して、16か国をつないだ手洗い励行動画を作成。コロンビア支所では、Facebookにて、その動画を共有。	-	いいね（18）、再生（1,557）	-	-	-	794

各拠点の「健康と命のための手洗い運動」活動事例（2022年3月調査時点）

No.	部署 (チーム名まで)	関連プロジェクト名	取組内容	配布物の数 (ハンドサニタイザー個数、マスク 枚数、ポスター部数など)	啓発人数(人) (イベント参加者数、視聴者数、 いいね!の数など)	備考、今後の予定等 (あれば)	企業連携	企業名	リーチ数(人) (重複有)
259	コロンビア支所	-	手洗いロゴのついたJICAカレンダー（①卓上、②壁掛け）を作成し、事業関係者へ配布した（600部）	①卓上カレンダー500部 ②壁掛けカレンダー100部	600人	-	-	-	
260	ボツワナ支所	-	井上きみどり氏の手洗い漫画を現地語のツワナ語に翻訳し、イラストも現地風に修正したものを大判のパネルに印刷して小学校や子ども関連のNGOに配布して掲示をお願いしている。	パネル50枚	小学校 6校、NGO2か所に配布済	-	-	-	
261	ボツワナ支所	-	井上きみどり氏の手洗い漫画を現地語のツワナ語に翻訳し、イラストも現地風に修正したものをデザインした紙製のドキュメントフォルダと、消毒液の詰め替えが可能なサニタイザーリストバンドを配布し、JICAボツワナパートナー、JOCV派遣予定先CPなどに対し手洗いと手指消毒の励行を呼び掛けている	ドキュメントフォルダー250部 サニタイザーリストバンド150個	250	-	-	-	
262	ボツワナ支所	-	井上きみどり氏の手洗い漫画を現地語のツワナ語に翻訳し、イラストも現地風に修正したものを紙芝居を作成した。今後紙芝居を活用したJOCVの活動、紙芝居の内容をテーマとしたポスターコンクールなどにつなげていきたい。	紙芝居（13ページ）30部	未実施のため0	JOCVの活動と絡めて今後実施予定	-	-	
263	ベナン支所	帰国研修員同窓会によるコロナ対策活動の支援	学校向けに手洗いキット（18セット）、布マスク（1,900枚）を配布し、正しい手洗いの仕方を伝えた。	手洗いキット（18セット）、学校用布マスク（1,900枚）	-	手洗いキットの整備に限らず、正しい手洗いの仕方を伝えたことが好評であった。同窓会が過去数年にわたりベナン各所で実施してきた活動であり、今後も継続する見込み。	-	-	1,900
264	ベナン支所	CFAOモーターズとの連携による職業訓練校講師のための車両整備研修	消毒ジェルを配布し、手指の衛生を保つことを周知。	消毒ジェル10個	-	同研修の実践研修では、複数人で資機材を共有・触れることもあり、手指の衛生を保つことが必須である。	-	-	-
265	ベナン支所	なし	事務所内の執務室・会議室等に手洗い啓発にかかるポスターを掲示。	ポスター10枚	-	-	-	-	-
266	ベナン支所	なし	事務所内の複数個所にハンドジェルを設置。	ハンドジェル5個	-	-	-	-	-
267	ベナン支所	なし	事務所来客用入り口に手洗いキットを設置。	手洗いキット1セット	-	ベナン政府による指示に従って実施したもの	-	-	-
268	ベナン支所	アトランティック県小学校建設設計画	無償資金協力「ベナン国アトランティック県小学校建設設計画」（2018年開始）において校舎とともに建設（2021年3月初旬完工）した全33校のトイレの使用と手洗い指導を、現地ローカルコンサルタントにより全校巡回実施。	建設トイレ前に手洗い場を併せて建築設置、手洗い用給水タンク、ハンドジェル各1個備える。	-	可能であれば「手洗いソング」の仏語歌詞（今はマダガスカル語と日本語和訳歌詞のみ）があれば、これを活用して普及定着させたい。	-	-	-
269	ニジェール支所	ニジェール共和国「地方4州（ドッソ、タウア、マラディ、ザンデル）における母子保健改善・COVID-19等感染症対策支援（WHO連携）」	WHOと連携し、地方4州35村にて母子保健とCOVID-19含む感染症対策の研修と予防啓発を行う。今後、研修モジュールを開発し、各市町村の保健行政官とコミュニティワーカーを対象とした研修を実施する。その後、研修を受けた保健行政官とコミュニティワーカーが市町村においてキャンペーン活動を展開する。	・手洗い機器 100器 ・ハンドソープ 100個 ・マスク 5000枚 ・手洗いジェル 100個	保健担当官 140名（35名×4州） コミュニティヘルスワーカー160名（40名×4州） 地域住民 400名（4州×2回×50名）	3月にWHOと契約完了。4月より具体的な活動を開始予定。 なお、啓発活動の様子は、国営テレビ、民営テレビ、新聞で放映・掲載予定。	-	-	-
270	ニジェール支所	2020年度 帰国研修員同窓会活動支援	5つの保健センターに対する新型コロナウイルス対策のための資機材供与（2020年度帰国研修員同窓会活動支援による）	・固形石鹸 ・液体石鹸 ・マスク ・手洗いジェル	保健センター勤務者 25名（5名×5センター）	-	-	-	-
271	ニジェール支所	2021年度 帰国研修員同窓会活動支援	看護師学校と2つの保健センターに対する新型コロナウイルス対策のための資機材供与（2021年度帰国研修員同窓会活動支援による）	・固形石鹸 ・液体石鹸 ・マスク ・手洗いジェル ・ポスター2枚×4センター	看護師学校 100名 保健センター勤務者 10名（5名×2センター）	今年度は井上きみどり氏が作成した漫画をポスターにし、院内に掲示してもらおうよう提案する。	-	-	-
272	ニジェール支所	-	井上きみどり氏の漫画をフランス語へ翻訳の上、ニジェール支所のFacebookに公開した。	-	いいね!+リアクション数16件、シェア1件 フォロワー数772名	-	-	-	984
273	ニジェール支所	-	フランス語へ翻訳した井上きみどり氏の漫画を、A2サイズ（A3サイズ2枚）に印刷し、ラミネート加工の後、ニジェール5州の338の小学校へ配布予定。国民教育省とユニセフと連携し、漫画の紹介とともに学校に掲示してもらおう予定。	ラミネート加工ポスター 338校分	小学校338校（一校当たり500人） 生徒と換算すると169,000人	国民教育省にはすでに配布済み。学校への配布のタイミングについて協議中。	-	-	-
274	ニジェール支所	-	JICAロゴ入りマスク100枚、教育プロジェクトロゴ入りマスク100枚、農業プロジェクトロゴ入りマスク100枚を作成（洗って繰り返し使用が可能）。常時着用する支所員のみならず、事業のカウンターパートや遠隔で受講する課題別研修員にも配布するなど、JICA事業に携わる人々に対して広く配布している。また東京パラリンピックに参加するニジェール選手団にもマスクを配布し、受け渡し式の様子、日本への機内の中、日本到着後の練習時に着用してもらい、その様子は国営放送やFacebookシェアなどで広く取り上げられた。	JICAロゴ入りマスク100枚 教育プロジェクトロゴ入りマスク100枚 農業プロジェクトロゴ入りマスク100枚	1人あたり啓発人数5名/日と換算し、これまで100日ほど経過したところから、1人あたり500名と仮定。 既に150枚ほど配ったため75,000名	-	-	-	
275	ニジェール支所	井上きみどりさんマンガ掲示	支所内にて井上きみどりさんの手洗い漫画（フランス語訳したもの）をA3ラミネート加工して水場に掲示した	ポスター2セット	課題別研修参加者など30人	特になし	-	-	-

各拠点の「健康と命のための手洗い運動」活動事例（2022年3月調査時点）

No.	部署 (チーム名まで)	関連プロジェクト名	取組内容	配布物の数 (ハンドサニタイザー個数、マスク枚数、ポスター部数など)	啓発人数(人) (イベント参加者数、視聴者数、いいね!の数など)	備考、今後の予定等 (あれば)	企業連携	企業名	リーチ数(人) (重複有)
276	ガボン支所 (アフリカ部経由)	コロナに負けるな! ガボンと 退避中隊員を繋ぐ支援プロジェ クト	以下の海外協力隊配属先に、協力隊自ら作成した手洗いポスターを配布し、手洗いの啓発活動を実施 するとともに、各配属先に給水タンク2セット、ペーパータオル300個、液体石鹸300個及びごみ袋 500枚を供与することで、手洗いの実践を促し新型コロナウイルスの感染予防に取り組んだ。 ・母子保健センター1箇所(ランバレネ) ・幼稚園3箇所(フランスビル) ・教育機関2箇所(ウトゥム)	給水タンク2セット、ペーパータオル 300個、液体石鹸300個及びごみ袋 500枚	6か所合計:1100以上	母子保健センター(ランバレネ)には9/2に物資供与 済、幼稚園3箇所(フランスビル)には12/17に物資 供与予定、教育機関2箇所(ウトゥム)には、2021年 1月頃を予定。	-	-	1,100
277	シエラレオネ支所 (アフリカ部経由)	保健衛生管理リーダーシップ及 びガバナンス	「保健衛生管理リーダーシップ及びガバナンス」のフォローアップ協力(2020年度)において、新型 コロナウイルス感染予防の一環として手洗いの啓発活動を組み込んだ。以下の供与物品を用いて、21か 所の保健所から保健所管理委員会メンバー各5名をチーフダム都にある規模の大きな保健所に招き手洗 いのデモンストレーションを行い、研修参加者にも実践してもらった。参加者はその後各地域に戻り 地域住民に対して手洗いのデモンストレーションを行った。 ・ハンドウォッシングステーションセット21台(ハンドソープ、ペーパータオル、ペーパータオル用 ごみ箱含む)	ハンドウォッシングステーション セット21台(ハンドソープ、ペー パータオル、ペーパータオル用ご み箱含む)	直接啓発人数:105名以上(21か 所の保健所管理委員会メンバー)	-	-	-	105
278	ウクライナフィールド オフィス	-	・井上きみどり氏の漫画をウクライナ語へ翻訳の上、JICAプロジェクトのC/Pに共有。 ・ウクライナ語の漫画を日本センター(過去技プロを実施)に共有し、同センターの受付や広報ス ペースにて配布を実施中。また、同センターが設置されているキエフ工科大学内でも掲示中。 ・日本語及びウクライナ語の漫画を日本大使館に共有し、領事部のカウンターに設置。 ・ウクライナ語の漫画を事務所内に掲示、啓発用に活用中。	-	-	-	-	-	-
279	人間開発部?ウガン ダ事務所?	コミュニティ保健強化プロジェ クト	①手洗い啓発イベント 現在実施中の技プロ「コミュニティ保健強化プロジェクト」の活動の一環として、4県でVillage Health Team(コミュニティヘルスワーカー)に対し、手洗い啓発教育を行う予定です。4県中の1県 (ムコノ県)ではヘルスセンターにて大々的に手洗い啓発イベントの開催を予定しています。 イベントでは、VHT及び地域のCOVID-19タスクフォースメンバー、学校教員、県保健担当者等々を 集めて、当地でHand sanitizer等の販売を行っているSARAYAと共同で手洗い実践及び正しい手洗い の仕方について披露する計画です。また海外協力隊員の方々にも手伝っていただき、手洗いダンスを 披露します。 加えて4県とは別にカンバラ市に近いエロ県においても「コミュニティ保健強化プロジェクト」の実 施パートナーが手洗い啓発教育を行う予定であり、その実施支援も計画しています。 ②手洗い啓発記事の新聞掲載 世界手洗いの日に合わせて、当国の新聞2社にJICAの手洗い関連支援について取材・記事の掲載を予定 しています。「コミュニティ保健強化プロジェクト」におけるVHTの地域巡回を通じた手洗い・衛生 啓発や、COVID-19対応関連で地方給水事業を通じた手洗い機材供与支援の結果などを取材して以 たく予定です。 ③コミュニティラジオを通じた手洗い啓発の発信 「コミュニティ保健強化プロジェクト」を実施中の4県の地域ラジオ局において、短めの手洗い啓発ス トーリーを手洗いの日前後に放送してもらうことを計画しています。	-	-	水2大塚さまより情報提供	○	サラヤ	-
280	-	-	(株)日水コン有志作成の手洗い動画にJICA手洗い運動のロゴマークを使用。IWA-YWPのFacebookサイ トや、日水コンFacebookにて宣伝。	-	-	-	-	-	-
281	マダガスカル事務所、 経済開発部 農業・農 村開発第二グループ第 5チーム	食と栄養改善プロジェクト	(マダガスカル事務所から報告) ヴァキナンカラチャ県の50村において、基礎保健センター及び地方自治体へのコロナ対策啓発と発生 時の対応研修、住民へのコロナ感染についての啓発 (経済開発部からの報告) 「食と栄養改善プロジェクト」では、マダガスカルの栄養分野におけるマルチセクター調整機能の強 化、栄養改善活動の実施体制及び関係者の能力強化、パイロット・コミュニティでの住民の行動変容の促 進(農業・食を通じた不適切な食事摂取の改善に加え、母子のケア及び保健、水・衛生に係る行動変 容を促すことで栄養改善を目指す)、モニタリング評価体制の強化により、パイロット・コミュニティ における女性と子供の栄養改善の実証を通じたマルチセクターによる介入枠組みの確立を図る。 水・衛生に係る活動として、研修および手洗いソングの配信を実施している。	①資材:蛇口付きポリタンク(手洗 い用)40個、石鹸80個、マスク 1,439枚:2020年10月~2021年3月 ②研修教材(手洗い他):1,300部: 2020年10月~2021年3月 ③ラジオ啓発:192回放送(2テーマ ×8放送回×12地方局)2020~2021 年 ④Facebook:3テーマの投稿(手洗 いソング含む)2020年 ⑤手洗い冊子(ワークショップ用): 井上きみどり先生の漫画型ポス ター)2021年9月 ⑥JICA手洗いソングの再放送:50回 (国営テレビ放送:20回、国営ラジ オ放送:30回)2021年7~9月 ⑦資材:蛇口付きポリタンク(手洗 い用)30個、石鹸60個 2022年1~3 月追加分	①1,200世帯(≒6,000人) ②1,200世帯(≒6,000人)+政府 職員他100人=約6,100人 ③3県の住民3,806,239人:イタシ 県897,962人、バキナカラチャ県 2,074,358人、アムルニマニア県 833,919人(2018年国勢調査) ④3投稿合計でいいね!1173人、 シェア30人 ⑤JCC参加者57人 ⑥国営テレビ放送:5,538,000人 国営ラジオ放送:13,568,100人 (UNICEF 2018 MICS報告書によ ると20%の世帯がテレビを、49% の世帯がラジオを持つ。これを踏 まえて、世界銀行による2020年推 定人口、27,690,000人の20%がテ レビに、49%がラジオにアクセス があるとして算定。)	左記にかかる資材および研修教材は、第1サイクルの研 修実施分。今後、第2サイクルおよび第3サイクルの研 修を実施する予定でありこれらの研修には各サイクル 240人、合計720人の栄養改善エージェントが参加、栄 養改善エージェントにより普及される村落の世帯数は 合計4,800世帯(≒24,000人:世帯数×5人として)と なる予定。 併せて、ラジオ啓発およびFacebookの投稿も継続する 予定である。なお、第2サイクル用の研修教材として、 「JICA 健康と命のための手洗い運動プラットフォーム」 に掲載されている井上きみどり先生の漫画型ポス ターの配布の他、手洗い啓発ポスターや衛生啓発教材 (石鹸使用、食品衛生)などを研修教材の内容に盛り 込んでいくことを検討している。 ⑦の資材は第2研修サイクルにおける受益世帯分(30世 帯×30村)である。	-	-	-

各拠点の「健康と命のための手洗い運動」活動事例（2022年3月調査時点）

No.	部署 (チーム名まで)	関連プロジェクト名	取組内容	配布物の数 (ハンドサニタイザー個数、マスク 枚数、ポスター部数など)	啓発人数(人) (イベント参加者数、視聴者数、 いいね！の数など)	備考、今後の予定等 (あれば)	企業連携	企業名	リーチ数(人) (重複有)
282	人間開発部保健第二グループ、 インドネシア事務所	地方分権下における母子健康手帳を活用した母子保健プログラムの質の向上プロジェクト	・ JICAロゴ付布マスク、花王社の泡ハンドソープ、マンダム社のハンドサニタイザー、カトラリー（スプーン、フォーク、ストロー）をJICAロゴ付バッグに入れて、手洗いガイド（インドネシア保健省作成）とともに3,000セット用意し、配布。 ・ 配布先は、新型コロナウイルスの感染が特に拡大している4州（ジャカルタ特別州、ジョグジャカルタ特別州、中部ジャワ州、東ジャワ州）を中心とした以下。病院及び保健所については「地方分権下における母子健康手帳を活用した母子保健プログラムの質の向上プロジェクト」と連携。 ① 保健所31箇所、1,600セット 11月3日に保健省・日本大使館・JETRO・花王インドネシア・オムロン・メディア数社が参加し、オンライン引渡式典を開催。 ② 病院3箇所、150セット ③ KAPPIJA21(青年研修同窓会)支部15箇所、750セット ④ その他関係事業（配布先について現在調整中）、400セット (2020/12/2)	・ JICAロゴ付布マスク、花王社の泡ハンドソープ、マンダム社のハンドサニタイザー、カトラリー（スプーン、フォーク、ストロー）をJICAロゴ付バッグに入れて、手洗いガイド（インドネシア保健省作成）とともに3,000セット配布済み	-	・ 広報室の理解があれば、第4四半期又は21年度に衛生用品セットの配布第二弾も検討。その際には、各種資料のインドネシア語版を作って配布したい。 (2020/10/23) ・ 教訓等 （1）コロナ禍において行事やプレスツアー等の広報活動が難しい中、医療現場等で求められている衛生用品の配布、予防に関する啓発活動を行ったことで、JICAからインドネシアへの連帯感を示す広報活動となった。 （2）事務所として初の試みであり、試行錯誤をしながら企画（20年6月）から実施完了（同11月）まで6ヵ月を要した。衛生用品の選定と調達に3ヵ月、配布先の確認と配布に1ヵ月を要した。同様の活動を行う場合、選定及び調達手続きの迅速化によって数ヵ月程度は短縮できると思われる。	○	花王、マンダム	3,000
283	経済開発部、青年海外協力隊事務局	-	新型コロナウイルスを受けて退避中のJICA海外協力隊員のうち、栄養改善に関する活動を行っている隊員に対し、栄養に関する専門的かつ実践的な知識を提供し、再派遣に向けたモチベーションを高めてもらう研修を実施。隊員の優良事例を共有する場も設け、相互に学び合うインタラクティブな内容を目指した。2020年9月～12月、月2回程度の頻度で計7回開催した。地球環境部と共催した第2回講義「栄養と水衛生」（10/14）で、同部が推進する「手洗い運動」が紹介された。	-	累計約240人 以下、参加隊員数 (※参加者重複あり。) 第1回：28人 第2回：27人 ※「水・衛生と栄養」をテーマとし、地球環境部手洗い事務局からも発表いただきました。 第3回：21人 第4回：22人 第5回：13人 第6回：20人 第7回：12人	第2回講義「栄養と水衛生」の参加者は約30人。今後も参加者を中心にパートナー隊員と協働し、栄養に係る取り組みを推進していく方針。（経済開発部）	-	-	240
284	地球環境部、ラオス事務所	水道事業運営管理能力向上プロジェクト（MaWaSU 2）	10月15日の「世界手洗いの日」に併せて、ラオスのカムアン県（ビエンチャンから5時間離れている中部の都市）の中学校にて行われる水道教室で「手洗い」ワークショップを実施予定。冊子と石鹸、及びポスター（約30部）の配布を実施。 現地新聞へのプレスリリース、JICAラオスオフィスFacebookページへの掲載。 子ども向けの「水道教室」は、今までもラオスの各水道公社で実施していたが、今後「手洗い」運動もそのなかに取り入れてもらうことを狙って、今回MAWASU 2プロジェクトの支援で行うもの。 【ツール】全面的にUNICEFラオス事務所が作成した手洗い運動用のマテリアルを利用し、冊子とポスターのデザインにJICAロゴを入れて配布。（UNICEF許諾済） ・ 2020年10月15日投稿 JICAラオス事務所Facebookページ https://www.facebook.com/1543550082576549/posts/2686486484949564/ ・ 2020年10月20日付Vientiane Times紙（当地英字新聞）に掲載 ・ 2020年10月19日付VTE Mai（ラオス語現地新聞） https://v2.vientianemai.net/archives/10654 ・ 2020年10月20日付Khammouane TV（ローカルテレビ） https://m.facebook.com/story.php?story_fbid=651779252179053&id=100020409512504	4つの県（サラワン県、ルアンバーン県、カムアン県、ボンサリ県）で、手洗い啓発促進のポスター、うちわを約400ずつ配布	4県で約400名に手洗い啓発運動を実施	プロジェクト終了の2023年10月頃まで全国的水道公社が企画して手洗い啓発活動を継続予定	-	-	7,010,000
285	地球環境部、広報室広報課 (+各国在外事務所、各プロジェクト)	-	・ JICAオリジナルポスターの作成。日本語版、英語版、ブランク版、アラビア語用の絵の向きを左右反転させたブランク版を用意。 ・ JICA在外事務所、プロジェクトにおいて各国語版への翻訳が進捗中。2021年4月7日時点で28言語で翻訳済・作業中。各国現地語版を、ウェブサイトに掲載。 日： https://www.jica.go.jp/activities/issues/water/handwashing/handwashing_manga_other.html 英： https://www.jica.go.jp/english/our_work/thematic_issues/water/handwashing/handwashing_manga_01.html	-	-	-	-	-	-
286	地球環境部、広報室	-	・ 手洗い運動プラットフォームwebサイトに、井上きみどり氏への取材に基づく記事を掲載。 ・ 学研Getnaviによるマンガポスター制作過程に関する広報記事も掲載。（広報室）	-	-	-	-	-	-
287	地球環境部、広報室	-	インフォグラフィックと写真を使った動画「手洗いができない世界があること」を公開。 ・ 英語版 https://youtu.be/ss8CAJ5Jx-E ・ 日本語版 https://youtu.be/ovbDF8ly8w8	-	-	-	-	-	24,974

各拠点の「健康と命のための手洗い運動」活動事例（2022年3月調査時点）

No.	部署 (チーム名まで)	関連プロジェクト名	取組内容	配布物の数 (ハンドサニタイザー個数、マスク 枚数、ポスター部数など)	啓発人数(人) (イベント参加者数、視聴者数、 いいね!の数など)	備考、今後の予定等 (あれば)	企業連携	企業名	リーチ数(人) (重複有)
288	地球環境部、広報室	-	WaterAid Japanと連携して、世界手洗いの日に向けたカウントダウンをSNS上で実施。WaterAid側のSNS発信にもJICA手洗い運動のロゴマークを使用。	-	-	-	-	-	1,064
289	青年海外協力隊事務局 ベトナム事務所	-	渡航後、隔離期間終了直後、隊員企画による手洗い運動動画をJICAベトナム事務所にて撮影し、事務所Facebookにて公開。(音楽はベトナム保健省が作成したもので、保健省からも許可取得済み) 補完研修「新型コロナウイルス感染症予防啓発研修」をきっかけに作成した。(129個の「いいね」と60件のシェア)	0	129件	-	-	-	13,231
290	広報部、手洗い運動事務局	-	JICAニュースに世界手洗いの日に関するトピックス記事(日・英)を掲載。 日：【10月15日は世界手洗いの日】世界に広がれ! JICA「健康と命のための手洗い運動」：この1年間で約3億人にその大切さが伝わりました! 2021年度 トピックス ニュース - JICA https://www.jica.go.jp/topics/2021/20211015_01.html 英：[Oct. 15 is Global Handwashing Day] JICA's Handwashing for Health and Life campaign throughout the world: Over 300 million people learned the importance of handwashing in one year News News & Features JICA https://www.jica.go.jp/english/news/field/2021/20211015_02.html	-	-	-	-	-	
291	広報部、手洗い運動事務局	-	2020年に引き続き2021年もWaterAid Japanと連携して、世界手洗いの日に向けたカウントダウンをSNS上で実施。WaterAid側のSNS発信にもJICA手洗い運動のロゴマークを使用。「あわあわハイタッチ」キャンペーン。	-	-	-	-	-	41,000
292	人事部健康管理室、地球環境部(健康と命のための手洗い運動事務局)、青年海外協力隊事務局	-	withコロナの状況下で再派遣を決めたJICA海外協力隊員(計6ヶ国35名)に対し、オンラインで「新型コロナウイルス感染症予防・啓発研修」を実施した。研修内容は、①新型コロナウイルスの予防(ビデオ)、②手洗い運動事務局による啓発(ビデオ)、③同期型オンライン講義。	-	≪ ↓ 2021年9月末時点! ≫ ①12月迄:計6ヶ国35名 ②1月~3月:16ヶ国84名(※①と重複あり) (累計実績) 36ヶ国226名へ実施。	今後も再派遣される全てのされる全てのされる全ての隊員に対して実施すると共に、来年度の派遣前訓練でも実施予定。	-	-	226
293	ドミニカ共和国事務所 経済開発部民間セクター開発グループ第二チーム	北部地域における持続的なコミュニティを基礎とした観光開発のためのメカニズム強化プロジェクト	・プロジェクトが実施するコミュニティを基礎とした観光開発において、コロナ感染予防対策の一環として、観光省、保健省、商工省等関係機関と連携し、「感染予防ガイドライン」を策定。その中で、手洗いの重要性についても説明。また、3S(Seguro:安全, Sano:健康, Sostenible:持続可能)を合言葉に、手洗いの正しい方法や消毒用ジェルを使い方などをイラスト付きで分かりやすく説明したポスター(約4,000部)、パンフレット(約23,400部)の啓発教材を作成。小規模ホテル、レストラン、住民グループ等地元観光関係者に配布した。さらに、同ガイドラインの説明会をオンラインで開催した。なお、手洗いの他、うがい、マスクの着用、ソーシャルディスタンスなど基本的な感染予防対策も併せて実施した。 ・本取り組みで特筆すべき点は、大規模リゾート観光が中心のドミニカ共和国において、取り残されがちなコミュニティツーリズム関係者に対し、いち早くコロナ感染防止対策を示したこと、プロジェクトの対象地域に対する取り組みではあるが、観光省、保健省を巻き込んだことで、今後他地域へも同ガイドラインが普及される可能性があることである。 ・作成したガイドラインや、ポスター、パンフレットはプロジェクトのHPで自由にダウンロードでき、オンライン説明会の自由に関覧可能である。(HP: https://proyectotcs.com/covid-19/) ・同取り組みは地元メディアでも多く取り上げられた。 https://www.diarionline.com/economia/el-turismo-comunitario-sostenible-en-la-region-norte-se-prepara-para-la-reapertura-AA20466262 (一例)	・ポスター(約4,000部)、 ・パンフレット(約23,400部)	-	プロジェクトでは今後チェックリストを使ったモニタリングをコミュニティグループ等と協力して行いながら、危機管理・危機対応も念頭に能力強化を行っていく予定。	-	-	27,400
294	エチオピア事務所 地球環境部水資源グループ	エチオピア水技術機構(EWTI)研修運営管理能力強化プロジェクト	アデイスアベバ市内の5つのサブシティ(Arada, Bole, Gullele, Kirkos, Kolfe Keraniyo)にある小学校・幼稚園のうち、手洗い用水が十分に供給されていない施設(調査は各サブシティの教育事務所が実施)を対象に手指消毒液を配付。各サブシティ教育事務所への供与と同時に、配付対象校の責任者及び取扱担当を招集し、EWTIのインストラクターが消毒液の使用・保管方法に関する安全教育を実施。配付後に消毒液の使用・保管状況をモニタリングして、適正な管理が行われているかを確認した(モニタリング対象校では、いずれも問題なく使用・保管されていることを確認した)。対象サブシティは先にマスクを配布したサブシティと同じで、JOCV隊員作成ポスターの配付を起点とした、マスク配付に続く教育施設向け支援。 実施状況: 消毒液配付:2021/12/28-2022/1/12 モニタリング:2022/3/23-30(サブシティ毎に1校抽出。消毒液使用・保管状況の訪問調査) JICAエチオピア事務所トピックス 和 https://www.facebook.com/jicaethiopia/posts/5241635472527525 英 https://m.facebook.com/jicaethiopia/posts/5241650815859324?_rdr Twitter: https://twitter.com/jicaEthiopia/status/1491006704947200005?s=20&t=x7uUDl4ho6icj1ohX55YhQ	①水槽20基、ポンプ2台、蛇口120ヶ所分の水性・配管材料 ②非接触式体温計5台、マスク12,500枚、使い捨て手袋2,500枚、手指消毒液(5L)100本、液体ハンドソープ(5L)100本	バハルダール市民(都市部推定人口約32万人)	公社による手洗い施設建設(供与資機材組立等)継続中(一部供用開始)。	-	-	320,000

各拠点の「健康と命のための手洗い運動」活動事例（2022年3月調査時点）

No.	部署 (チーム名まで)	関連プロジェクト名	取組内容	配布物の数 (ハンドサニタイザー個数、マスク 枚数、ポスター部数など)	啓発人数(人) (イベント参加者数、視聴者数、 いいね！の数など)	備考、今後の予定等 (あれば)	企業連携	企業名	リーチ数(人) (重複有)
295	エチオピア事務所 地球環境部水資源グループ	エチオピア水技術機構 (EWTI) 研修 運営管理能力強化プロジェクト	アデイスアベバ市内の5つのサブシティ (Arada, Bole, Gullele, Kirkos, Kolfe Keraniyo) にある小学 校・幼稚園のうち、手洗い用水が十分に供給されていない施設 (調査は各サブシティの教育事務所が 実施) を対象に手指消毒液を配布。各サブシティ教育事務所への供与と同時に、配布対象校の責任者 及び取扱担当を招集し、EWTIのインストラクターが消毒液の使用・保管方法に関する安全教育を実 施。配布後に消毒液の使用・保管状況をモニタリングして、適正な管理が行われているかを確認した (モニタリング対象校では、いずれも問題なく使用・保管されていることを確認した)。 対象サブシティは先にマスクを配布したサブシティと同じで、JOCV隊員作成ポスターの配布を起点と した、マスク配布に続く教育施設向け支援。 実施状況： 消毒液配布：2021/12/28-2022/1/12 モニタリング：2022/3/23-30 (サブシティ毎に1校抽出。消毒液使用・保管状況の訪問調査) JICAエチオピア事務所トビックス 和 https://www.facebook.com/jicaethiopia/posts/5241635472527525 英 https://m.facebook.com/jicaethiopia/posts/5241650815859324?_rdr Twitter: https://twitter.com/jicaEthiopia/status/1491006704947200005?s=20&t=x7uUDI4ho6icj1ohX55YhQ	・手指消毒液：6,400L (各サブシ ティに1,280Lずつ) ・消毒液詰替え作業用使い捨て手袋 (100枚/箱)：100箱 (各サブシ ティに20箱ずつ) ・消毒液安全利用指導ポスター (児 童向け：1200枚、職員向け：33枚)	配布対象の学校数、生徒数、クラ ス数 小学校：30校、生徒数：28341 名、1110クラス 幼稚園：24校、生徒数：7056名、 226クラス 合計 54校、生徒35,397名、1336クラス 推定職員数：約2000名 (クラス数 より)	-	-	-	35,000
296	エチオピア事務所 地球環境部水資源グループ	エチオピア水技術機構 (EWTI) 研修 運営管理能力強化プロジェクト	LIXIL社がエチオピア向けに家庭用小型手洗い器 (SATO Tap) の寄付を計画しており、そのうちEWTI の受取予定分に対して、同社生産地 (インド) からEWTIまでの輸送に協力する計画。	SATO Tap：約10,000個	約10,000世帯	法務課にてLIXIL社との契約内容確認中。	○	LIXIL	50,000